地方独立行政法人神奈川県立病院機構
精神医療センター

平成28年度

精神医療センター業務年報

平成29年11月

目　　次

Ⅰ　概　　況

1　基 本 理 念 …… 1
2　沿　　革 …… 1
3　組織・機構 …… 5
4　職員配置状況 …… 6
5　施　　設 …… 8
　施設配置図 …… 9
6　主な委員会・会議一覧 …… 10
7　主な研修実績 …… 11

Ⅱ　精神医療センター事務事業の状況

1　精神医療センター基本方針 …… 13
2　経理の状況
　財務諸表 …… 14
3　業務実績
⑴　各種指標 …… 17
4　患者の状況
⑴　外来患者の状況 …… 18
⑵　入退院患者の状況 …… 20
⑶　救急医療の状況 …… 26
5　業務の状況
⑴　看　　護 …… 27
⑵　作業療法（OT） …… 39
⑶　デイ・ケア療法 …… 42
⑷　検査業務 …… 47
⑸　福祉医療相談科業務 …… 51
⑹　訪問看護業務 …… 57
⑺　地域医療連携業務 …… 59
⑻　薬剤業務 …… 60
⑼　医療教育 …… 61
⑽　栄養管理業務 …… 61
⑾　保育業務 …… 64

（注）　本年報の表は原則として平成29年３月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

Ⅰ　概　　況

1　基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します。

2　沿　　革

当センターは精神病院法に基づくわが国３番目の府県立精神病院として昭和４年３月から診療を開始した芹香院と、昭和38年４月、全国に先駆け、麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後、神経症、アルコール依存症、薬物中毒者の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成２年４月に神奈川県立精神医療センターとして改組した。（名称も芹香病院、せりがや病院に改称。）

平成26年12月両院を統合し、323床（許可病床）を有する新しい「神奈川県立精神医療センター」として開院した。

開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

【芹　香　院】

昭和３年11月	本館及び病棟５棟　付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
４年３月	診療開始（150床）
35年７月	第１、第２病棟完成（作業療法棟2,207.05㎡）
39年４月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
46年８月	院内保育施設新築
11月	Ｃ病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年１月	Ａ病棟、Ｂ病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
３月	温室及び看護婦宿舎新築
６月	作業療法棟改築
７月	事務局に医事課を新設
８月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年７月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年３月	Ａ、Ｂ、Ｃ各病棟の２、３階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	Ａ3病棟を開棟
55年８月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長（総務課長兼務）新設
56年７月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場（27アール）整備工事完成
57年１月	身体障害者用便所、管理診療棟１箇所、Ａ病棟１箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年９月	デイ・ケア施設改修
62年４月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年３月	保護室（６室）、静養室（16室）改修
２年１月	保護室（８室）改修

【せりがや園】

昭和38年１月	本館新設（サーモコン２階建）
３月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
４月	診療開始（70床）
39年４月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年７月	本館増築工事等
	病棟、管理部門の改修
52年４月	病床数（64床）変更

【精神医療センター】

平成２年４月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置
	せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
９月	せりがや病院新築（80床）
３年４月	芹香病院Ａ1病棟を老人性痴保専門治療病棟（44床）に改修
	芹香病院Ｂ3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
４年４月	芹香病院Ｂ2病棟保護室（４室）改修
５年２月	せりがや病院　基準看護結核・精神特２類承認
３月	芹香病院　基準看護結核・精神特２類承認
６年３月	看護婦共同宿舎、看護士宿舎、職員公舎一戸解体
	芹香病院Ｃ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10月	芹香病院、せりがや病院新看護体系３：１承認
７年３月	芹香病院Ｂ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
	Ｃ棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
７年５月	せりがや病院　特別管理給食加算（適時適温給食）実施
８年３月	芹香病院Ａ1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
	芹香病院Ａ2病棟に感染症隔離室（２室）設置
	芹香病院Ａ3病棟に救急用保護室（４室）、静養室（３室）設置
８年４月	芹香病院病床数（497床）変更
	芹香病院　精神科救急医療開始
	選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎３戸解体
12年７月	芹香病院　特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12月	第１医療職員公舎解体
14年４月	芹香病院　精神科救急医療　24時間体制開始（８床）
15年４月	芹香病院　精神科　救急病棟開設（Ｂ－１病棟　26床）
	芹香病院　病床数（445床）変更
15年９月	芹香病院　応急入院指定病院（１床）

平成15年10月　芹香病院　精神科急性期治療病棟（B1）入院科１適用承認
芹香病院　紹介患者加算５実施
16年４月　芹香病院　精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認
芹香病院　精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認
芹香病院　医療保護入院等診療科適用承認
せりがや病院　医療保護入院等診療科適用承認
芹香病院　褥瘡患者管理加算適用承認
６月　芹香病院　療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
９月　芹香病院　夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年４月　地方公営企業法全部適用
精神医療センターの組織再編成　看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称
12月　芹香病院　日本医療機能評価機構認定病院となる
せりがや病院　日本医療機能評価機構認定病院となる
18年１月　芹香病院　診療録管理体制加算
せりがや病院　診療録管理体制加算
４月　芹香病院　15対１精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く）
芹香病院　老人性認知症疾患治療病棟入院料１（A1病棟）
芹香病院　医療安全対策加算
芹香病院　臨床研修病院入院診療加算
芹香病院　栄養管理実施加算
せりがや病院　15対１精神病棟入院基本料
せりがや病院　栄養管理実施加算
８月　芹香病院　精神科ショート・ケア「大規模なもの」
９月　芹香病院　指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
せりがや病院　指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
12月　芹香病院　特定病院認定
19年５月　芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料２適用承認
８月　せりがや病院　精神科作業療法適用承認
20年３月　芹香病院　老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床
芹香病院　生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床
４月　芹香病院　ストレスケア病棟（A2病棟）開床
芹香病院　精神科地域移行実施加算
８月　芹香病院　看護補助加算１
21年２月　芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料２（A2・B2病棟）
４月　芹香病院　精神科救急入院料２（B1・B2病棟）
芹香病院　通院対象者社会復帰連携体制強化加算
６月　せりがや病院　褥瘡患者管理加算

平成21年９月	芹香病院　病床数（308床）変更
22年２月	芹香病院　医療観察法指定入院医療機関の指定（２床）
	芹香病院　入院対象者入院医学管理料
４月	地方独立行政法人へ移行
５月	芹香病院　救急医療管理加算
	せりがや病院　重度アルコール依存症管理加算
６月	芹香病院　精神科救急入院料１（Ｂ1、Ｂ2病棟）
７月	芹香病院　精神科急性期治療病棟入院料１（Ａ2病棟）
12月	芹香病院　精神科身体合併症管理加算
	せりがや病院　精神科身体合併症管理加算
	せりがや病院　13対１精神科病棟入院基本料
23年１月	芹香病院　作業療法棟及び社会療法棟の撤去
９月	芹香病院　医療観察法病棟の建設工事を開始
24年２月	芹香病院精神科一般病棟（Ｃ3病棟）休床
４月	芹香病院精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
	芹香病院治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
11月	医療観察法病棟（Ｆ病棟）の開棟（33床）
	新精神医療センター本館の建設工事を開始
26年３月	せりがや病院　１階病棟　休床
４月	せりがや病院精神保健福祉士配置加算
	芹香病院精神科急性期医師配置加算（A2病棟）
12月	精神医療センター本館開設、芹香病院・せりがや病院統合（323床）
	思春期病棟開設
	既存棟除却工事を開始
	コンピューター断層撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型の機器による場合）
	ニコチン依存症管理料
27年１月	児童・思春期精神科入院医療管理料（4Ｂ病棟）
	強度行動障害入院医療管理加算（4Ｂ病棟）
11月	既存棟除却工事完了
28年９月	新院内保育施設建設工事を開始
29年４月	新院内保育施設建設工事完了
５月	院内保育施設一般児童の受入開始

3　組織・機構（平成29年４月１日 現在）

- 所長（兼院長）
  - 院長
    - 副院長（兼医療局長）
    - 副院長（兼看護局長）
    - 事務局：事務局長
      - 副事務局長
        - 総務課
        - 経営企画課
        - 医事課
        - 診療情報管理室
        - 図書室
        - なかよし保育園（院内保育施設）
    - 医療局：医療局長
      - 外来診療部
        - 外来診療科
        - 認知症診療科
        - デイ・ケア診療科
      - 救急診療部
        - 救急A診療科
        - 救急B診療科
      - 一般医療部
        - 高度ケア科
        - 地域移行支援診療科
        - 身体ケア科
        - クロザピンユニット
      - 専門医療部
        - 思春期診療科
        - ストレスケア科
        - 依存症診療科
        - 医療観察法診療科
      - 地域連携部
        - 訪問看護科
        - 地域医療連携室
      - コ･メディカル部
        - 福祉医療相談科
        - デイ・ケア科
        - 作業療法科
        - 心理科
        - 薬剤科
        - 検査科
        - 栄養管理科
    - 看護局：看護局長
      - 副看護局長（業務担当 教育担当）
        - 外来看護科
        - 5A病棟看護科（救急A）
        - 5B病棟看護科（救急B）
        - 4A病棟看護科（高度ケア）
        - 4B病棟看護科（思春期）
        - 3A病棟看護科（地域移行支援）
        - 3B病棟看護科（ストレスケア）
        - 2A病棟看護科（身体ケア）
        - 2B病棟看護科（依存症）
        - F病棟看護科（医療観察法）
        - 看護教育科
  - 医療安全推進室
  - 臨床研究部
    - 臨床研究室
    - 治験管理室

4　職員配置状況（平成29年４月１日 現在）

職 所属	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再雇用職員	契約職員	任期付職員
所長		1		1				
院長		(1)		(1)				
副院長		2		2				
事務局				0				
事務局長	1			1				
副事務局長	1			1				
総務課	6			6	4		2	
経営企画課	6			6			2	
医事課	5			5	2		1	
小計	19	3	0	22	6	0	5	0
医療局長		(1)		(1)				
診療科		25		25	29			3
作業療法科		7		7				
デイ・ケア科	3	3		6	1			
心理科	7			7	2			
福祉医療相談科	13			13	3			
地域連携室	1	2		3				
訪問看護科		4		4		1		
検査科				0	1			
薬剤科		5		5	1			
栄養管理科		2	14	16	13		4	
看護局長		(1)		(1)				
副看護局長等		2		2				
看護局		238	3	241	10	5	10	
医療安全室		1		1				
小計	24	289	17	330	60	6	14	3
計	43	292	17	352	66	6	19	3

（注）（　）は兼務

職種別内訳（平成29年４月１日現在）

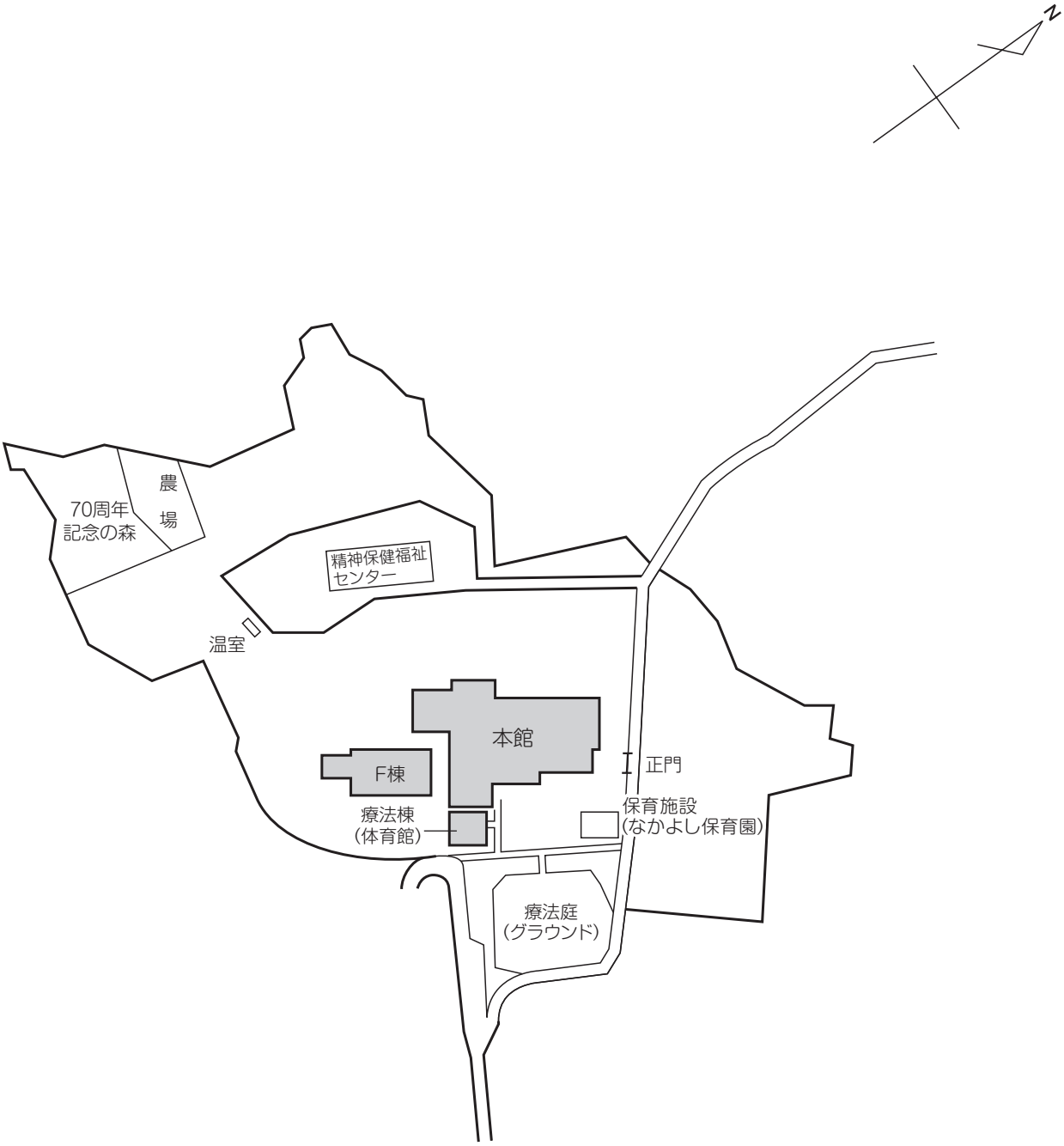
職種＼所属		所長	事務局	医療局	看護局	計
一般事務職			19			19
栄養士				2		2
調理職				14		14
医師		1		26		27
福祉職	ソーシャルワーカー			15		15
	臨床心理士			9		9
作業療法士				9		9
薬剤師				5		5
看護職			1	7	241	249
病棟技能職					3	3
総数		1	20	87	244	352

5　施　　設

【神奈川県立精神医療センター】（平成29年４月１日 現在）

土　地		111,978.98㎡
建　物		（延べ面積）
本　館	鉄筋コンクリート造　地上５階建	18,349.28㎡
療法棟	鉄骨造　平屋建	543.86㎡
営繕棟	鉄骨造　平屋建	59.81㎡
渡り廊下（Ａ）	アルミニウム造　平屋建	0　㎡
渡り廊下（Ｂ）	アルミニウム造　平屋建	0　㎡
ポンプ室	コンクリートブロック造　平屋建	14.37㎡
医療観察等病棟	鉄筋コンクリート造　地上２階建	2,998.75㎡
庇	鉄骨造　平屋建	0　㎡
倉　庫	鉄筋コンクリート造　平屋建	21　㎡
（防災倉庫）	鉄筋コンクリート造　平屋建	43.21㎡
渡り廊下（Ｄ）	鉄骨造　平屋建	0　㎡
渡り廊下（Ｅ）	鉄骨造　平屋建	0　㎡
農機具庫（Ａ）	鉄骨造　平屋建	1.75㎡
農機具庫（Ｂ）	鉄骨造　平屋建	1.75㎡
用具庫	鉄骨造　平屋建	1.26㎡
計		22,035.04㎡

施設配置図



※なかよし保育園は平成 29 年 4 月に新築移転。

6　主な委員会・会議一覧（平成29年４月１日現在）

委員会・会議	目　　的	所管課（科）	構成員数	開　催　日
管理者会議	センターの運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	7人	月２回（第１・第３月）
経営会議	センターの経営改善の推進に必要な事項の検討	医事課	28人	月１回（第４火）
診療情報部会	センターのカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事課	7人	月１回（第２火）
運営協議会	センターの人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年１回
倫理委員会	センターで行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	9人	随時
機種等選定会議	備品購入又は委託等に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な選定	経営企画課	7人	随時
工事発注方法審査会議	工事の発注方法等の審査の実施	経営企画課	7人	随時
教育研修会議	医療人材の教育･研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	16人	隔月
運営調整会議	センターの運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	28人	月１回（第１火）
感染防止対策会議	センターの院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	医療安全推進室	19人	月１回（第４火）
医療事故防止対策会議	センターの医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	医療安全推進室	21人	月１回（第１火）
栄養・給食会議	センターの栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	24人	年４回
薬事会議	センターの医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬剤科	8人	年４回
衛生委員会	センターの職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	8人	月１回（第１月）
看護科長会議	センターの看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	15人	月３回（第１・第２・第４水）

7　主な研修実績

月	研修	担当	開催日	テーマ	講師	参加者数
4月	新採用・ 転入職員研修	看護局・総務課	４月１日 ～８日 （内５日間）	別紙参照		22名
6月	感染防止 研修①	感染防止対策会議	７月６日	食中毒対策 細菌性食中毒を中心に	栄養管理科	聴講　126名 フォローアップ 294名 計420名
9月	接遇研修	教育研修会議	９月27日	接遇研修	松島看護科長 岸良看護科長	59名
10月	研究発表会 １回目	教育研修会議	10月19日	９題	医局①・ コメディカル部・ 5A・4B・ 3A・2A	93名
11月	CVPPP研修会	行動制限評価会議	11月2日	CVPPP研修会	行動制限 評価検討会議	45名
	救急蘇生	教育研修会議	11月14日	救急蘇生研修会	集中ケア 認定看護師 がんセンター 鎌田　佳子 循環器呼吸器病センター 小林　恵子	61名
11月 ～ 12月	委託職員研修	教育研修会議	11月30日 12月１日 見学 （12月13日15日）	センター概要・理念 精神疾患について 事故防止・感染管理	精神看護 専門看護師 石田　正人	20名
12月	医療事故防止 研修①	事故防止対策会議	12月１日	糖尿病と インシュリン管理	薬剤科 小林　真美	聴講　121名 フォローアップ 291名 計412名
	感染防止 研修②	教育研修会議	12月７日	ノロウイルスの 感染予防と対応策	エコラボ	31名
	研究発表会 ２回目	教育研修会議	12月14日	10題	医局② コメディカル部・ 地域連携部・ 外来・5B・ 4A・3B・ 2B・F	30名
	感染防止 研修③	教育研修会議 医療安全推進室	12月19日	結核について 知っていますか	伊藤恵理子医師	56名
平成 29年 2月	医療安全 フォーラム ・感染防止研修④ ・医療安全研修② ・医薬品安全管理研修	教育研修会議	２月１日～ ２月３日	医療安全推進室 NST、薬剤科他	展示等	328名
	衛生委員会研修	衛生委員会	２月23日	職場の腰痛予防 について	足柄上病院 中村　祐之 整形外科医長	54名

Ⅱ　精神医療センター事務事業の状況

1　精神医療センター基本方針

1　神奈川県の精神科中核病院として、高度な医療を提供します。

○精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携します。

○依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の４つの分野で専門的な医療を提供します。

○先進的な医療に関する臨床研究や、神奈川県の医療の将来を担う人材育成に取り組みます。

2　患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。

○患者さん参加のもとで治療計画を考え、多職種チームで支援します。

○インフォームド・コンセントを徹底し、患者さんの意思決定を尊重します。

3　みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。

○積極的な情報公開に努め、透明性の高い安全な医療を提供します。

○患者さんやご家族とともに、安心して医療を受けられる療養環境を築きます。

4　地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。

○必要な入院をスムーズに受け入れるとともに、早期退院を目指して計画的な援助を行います。

○関係機関との連携を密にし、在宅の患者さんの地域生活を支援します。

○関係機関と連携し、地域における精神保健活動に協力します。

5　県立病院として健全な経営を目指します。

○効率的で効果的な経営のあり方を追求し、自立した病院経営に努力します。

2　経理の状況

(1)　財務諸表

(ア)　貸　借　対　照　表

（平成29年３月31日）

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構精神医療センター】　（単位：円）

科　目	金　額			
資産の部				
Ⅰ　固定資産				
1　有形固定資産				
土地		8,690,000,000		
建物	6,960,310,673			
減価償却累計額	△ 878,055,287	6,082,255,386		
構築物	306,627,186			
減価償却累計額	△ 41,848,494	264,778,692		
器械備品	930,389,184			
減価償却累計額	△ 404,233,395	526,155,789		
車両	4,321,636			
減価償却累計額	△ 254,496	4,067,140		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		113,437,699		
有形固定資産合計		**15,680,694,706**		
2　無形固定資産				
ソフトウェア		52,844,122		
電話加入権		25,000		
その他		0		
無形固定資産合計		**52,869,122**		
3　投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		289,637,626		
長期前払費用		0		
破産更生債権等	19,360,588			
貸倒引当金	△ 19,360,588	0		
その他		962,000		
投資その他の資産合計		**290,599,626**		
固定資産合計			**16,024,163,454**	
Ⅱ　流動資産				
現金及び預金		159,242,145		
医業未収金	546,024,844			
貸倒引当金	△ 5,216,332	540,808,512		
未収金		1,564,545		
たな卸資産		13,049,206		
前払費用		0		
その他		518,454		
流動資産合計			**715,182,862**	
資産合計				**16,739,346,316**

（単位：円）

科　目	金　額			
負債の部				
Ⅰ　固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費負担金	398,781,375			
資産見返補助金等	1,399,952,857			
資産見返寄附金	3,934,535			
資産見返物品受贈額	12,316,712			
建設仮勘定見返運営費負担金	13,023,149	1,828,008,628		
長期借入金		5,261,136,951		
移行前地方債償還債務		106,362,000		
長期 PFI 債務		0		
引当金				
退職給付引当金	1,978,458,831			
環境対策引当金	0	1,978,458,831		
リース債務		87,278,000		
資産除去債務		16,847,980		
固定負債合計			**9,278,092,390**	
Ⅱ　流動負債				
寄附金債務		1,502,330		
一年以内返済予定長期借入金		146,123,049		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		53,182,000		
未払金		205,390,089		
一年以内支払予定リース債務		51,502,800		
未払費用		57,104		
前受金		450		
預り金		15,559,339		
引当金				
賞与引当金	223,619,820	223,619,820		
流動負債合計			**696,936,981**	
負債合計				**9,975,029,371**
純資産の部				
Ⅰ　資本金				
設立団体出資金		8,028,553,422		
資本金合計			**8,028,553,422**	
Ⅱ　資本剰余金				
資本剰余金		90,347,000		
資本剰余金合計			**90,347,000**	
Ⅲ　繰越欠損金				
当期未処理損失		△ 1,354,583,477		
（うち当期総損失）		(300,177,200)		
繰越欠損金合計			**△ 1,354,583,477**	
純資産合計				**6,764,316,945**
負債純資産合計				**16,739,346,316**

㈠ 損　益　計　算　書

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構精神医療センター】　（単位：円）

科　目	金　額		
営　業　収　益			
医業収益			
入院収益	2,675,383,904		
外来収益	392,962,898		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	62,264,512		
保険等査定減	△ 1,093,287	3,129,518,027	
運営費負担金収益		1,915,214,000	
補助金等収益		2,045,347	
寄附金収益		0	
資産見返運営費負担金戻入		23,797,169	
資産見返補助金等戻入		82,287,470	
資産見返寄附金戻入		149,566	
資産見返物品受贈額戻入		65,960	
営　業　収　益　合　計			**5,153,077,539**
営　業　費　用			
医業費用			
給与費	3,456,635,835		
材料費	263,462,882		
減価償却費	476,496,364		
経費	540,813,439		
研究研修費	8,704,620		
児童福祉施設費	0	4,746,113,140	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		70,384,245	
資産に係る控除対象外消費税等償却		17,813,067	
その他営業費用		0	
営　業　費　用　合　計			**4,834,310,452**
営　業　損　益			**318,767,087**
営 業 外 収 益			
運営費負担金収益		39,511,000	
不用品売却収益		21,000	
財務収益		149	
雑益		14,784,153	
営　業　外　収　益　合　計			**54,316,302**
営 業 外 費 用			
財務費用		72,075,836	
営　業　外　費　用　合　計			**72,075,836**
経　常　損　益			**301,007,553**
臨　時　利　益			
資産見返物品受贈額戻入		0	**0**
臨　時　損　失			
固定資産除却損		830,353	
その他臨時損失		0	**830,353**
当　期　純　損　益			**300,177,200**
当　期　総　損　益			**300,177,200**

3　業務実績

(1)　各種指標

項目	計算方式	単位	平成28年度	平成27年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	323	323	100.0	
取扱患者数		人	163,462	154,741	105.6	
入院患者		人	108,208	104,443	103.6	
外来患者		人	55,254	50,298	109.9	
1日平均取扱患者数		人	523.9	492.4	106.4	
入院患者	取扱入院患者数／年間日数	人	296.5	285.4	103.9	
外来患者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	227.4	207.0	109.9	
病床利用率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	91.8	88.3	104.0	
平均在院日数	入院延患者数／｛(入院患者数＋退院患者数)×0.5｝	日	99.4	104.2	95.4	
入院外来患者比率	取扱外来患者数／取扱入院患者数×100	%	51.1	48.2	106.0	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数／医師延人数	人	20.2	15.1	133.8	
看護師	取扱患者数／看護師延人数	人	2.2	1.8	122.2	
職員数		人	345	343	100.6	期末人数
医師		人	26	28	92.9	期末人数
看護師		人	242	238	101.7	期末人数
その他職員		人	77	77	100.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数／病床数×100	人	106.8	106.2	100.6	
医師	職員数／病床数×100	人	8.0	8.7	92.0	
看護師	職員数／病床数×100	人	74.9	73.7	101.6	
その他職員	職員数／病床数×100	人	23.8	23.8	100.0	
患者1人当たりの収益						
入院患者	入院収益／取扱患者数	円	24,722	24,887	99.3	
外来患者	外来収益／取扱患者数	円	7,096	7,098	100.0	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益／医師延人数	円	329,770	291,413	113.2	
看護師	医業収益／看護師延人数	円	35,430	34,284	103.3	
患者1人当たりの費用	医業費用／取扱患者数	円	29,035	29,968	96.9	
患者1人当たりの薬品費	薬品費／取扱患者数	円	1,065	1,101	96.7	
入院患者1人当たりの給食材料費	給食材料費／取扱入院患者数	円	714	704	101.4	
医業収益に対する費用比率	医業費用／医業収益×100	%	151.7	155.3	97.7	
給与費	給与費／医業収益×100	%	110.5	112.1	98.6	
材料費	材料費／医業収益×100	%	8.4	8.5	98.8	
経費	経費／医業収益×100	%	17.3	20.3	85.2	

4　患者の状況

(1)　外来患者の状況

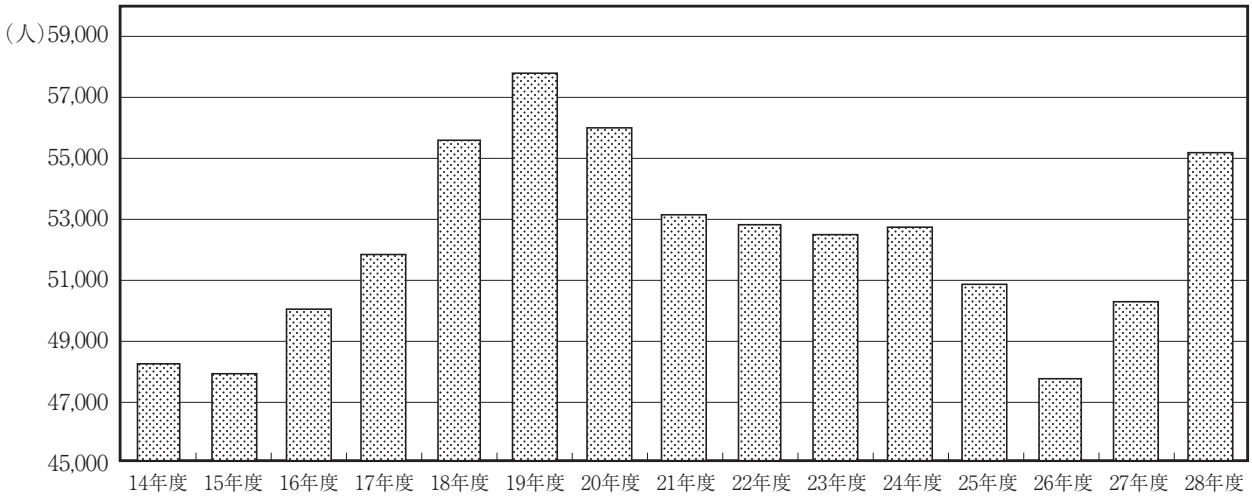
延患者数では4,956人増で対前年度比9.9％増となっている。また、新患については214人増の対前年度比14.4％増となっている。

ア　月別外来患者数

年度	区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28	新　患	151	138	140	136	130	135	144	141	137	144	160	143	1,699
	再　来	4,308	4,110	4,410	4,354	4,466	4,494	4,401	4,528	4,563	4,363	4,469	5,089	53,555
	延患者数	4,459	4,248	4,550	4,490	4,596	4,629	4,545	4,669	4,700	4,507	4,629	5,232	55,254
	一日平均	223.0	223.6	206.8	224.5	208.9	231.5	227.3	233.5	247.4	237.2	231.5	237.8	227.4
27	新　患	120	120	133	133	90	117	121	112	131	133	152	123	1,485
	再　来	4,195	3,701	4,016	4,239	3,802	3,967	4,216	3,882	3,985	3,976	4,123	4,711	48,813
	延患者数	4,315	3,821	4,149	4,372	3,892	4,084	4,337	3,994	4,116	4,109	4,275	4,834	50,298
	一日平均	205.5	212.3	188.6	198.7	185.3	214.9	206.5	210.2	216.6	216.3	213.8	219.7	207.0

（注）精神科のほか、内科･歯科受診者を含む

イ　外来患者数の年次推移状況



ウ　病類別新外来患者数

年度	区分＼病類(ICD)	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計
28	男	2	3	195	83	7	67	129	93	4	13	14	4	135	749
	女	2	4	72	28	4	70	144	144	2	19	15	5	104	613
	計	4	7	267	111	11	137	273	237	6	32	29	9	239	1,362
	構成比	0.3	0.5	19.6	8.1	0.8	10.1	20.0	17.4	0.4	2.3	2.1	0.7	17.5	100.0
27	男	2	2	198	84	9	126	147	68	0	14	13	2	25	690
	女	1	1	63	27	12	146	147	90	4	19	3	0	20	533
	計	3	3	261	111	21	272	294	158	4	33	16	2	45	1,223
	構成比	0.2	0.2	21.3	9.1	1.7	22.2	24.0	12.9	0.3	2.7	1.3	0.2	3.7	100.0

（注）新外来患者とは、精神科初診患者と６ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ　年齢別新外来患者数

年度	区分＼年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
28	男	87	95	151	162	149	65	40	749
	女	93	98	113	139	80	52	38	613
	計	180	193	264	301	229	117	78	1,362
	構成比	13.2	14.2	19.4	22.1	16.8	8.6	5.7	100.0
27	男	68	80	118	189	144	58	33	690
	女	66	90	89	123	77	50	38	533
	計	134	170	207	312	221	108	71	1,223
	構成比	11.0	13.9	16.9	25.5	18.1	8.8	5.8	100.0

オ　地域別実外来患者数

居住地域＼年度	28	27
横浜市	3,588	3,261
鶴見区	91	98
神奈川区	136	131
西区	100	88
中区	144	158
南区	608	551
港南区	641	566
保土ケ谷区	222	214
旭区	132	124
磯子区	252	215
金沢区	188	178
港北区	94	82
緑区	54	50
戸塚区	458	382
瀬谷区	68	68
栄区	148	133
泉区	158	140
青葉区	50	50
都筑区	44	33
川崎市	167	168
川崎区	48	39
幸区	24	27
中原区	25	27
高津区	27	27
宮前区	18	15
多摩区	11	20
麻生区	14	13

居住地域＼年度	28	27
横須賀市	120	116
平塚市	41	36
鎌倉市	86	78
藤沢市	160	155
小田原市	17	18
茅ヶ崎市	63	61
逗子市	22	26
相模原市	47	45
三浦市	17	14
秦野市	18	11
厚木市	31	20
大和市	50	38
伊勢原市	11	9
海老名市	24	18
座間市	17	22
南足柄市	6	3
綾瀬市	19	9
三浦郡　葉山町	8	7
高座郡　寒川町	9	6
愛甲郡	4	4
愛川町	4	3
清川村	0	1
中郡	8	9
大磯町	4	6
二宮町	4	3

居住地域＼年度	28	27
足柄上郡	2	1
中井町	0	0
大井町	1	0
松田町	1	0
山北町	0	0
開成町	0	1
足柄下郡	10	8
箱根町	3	1
真鶴町	2	1
湯河原町	5	6
県内計	4,545	4,143
東京都	141	146
埼玉県	7	12
千葉県	18	7
群馬県	2	1
栃木県	1	18
山梨県	2	1
静岡県	8	1
茨城県	2	4
その他の県	31	26
県外計	212	216
住所不明	0	0
計	4,757	4,359

（注）新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

(2) 入退院患者の状況

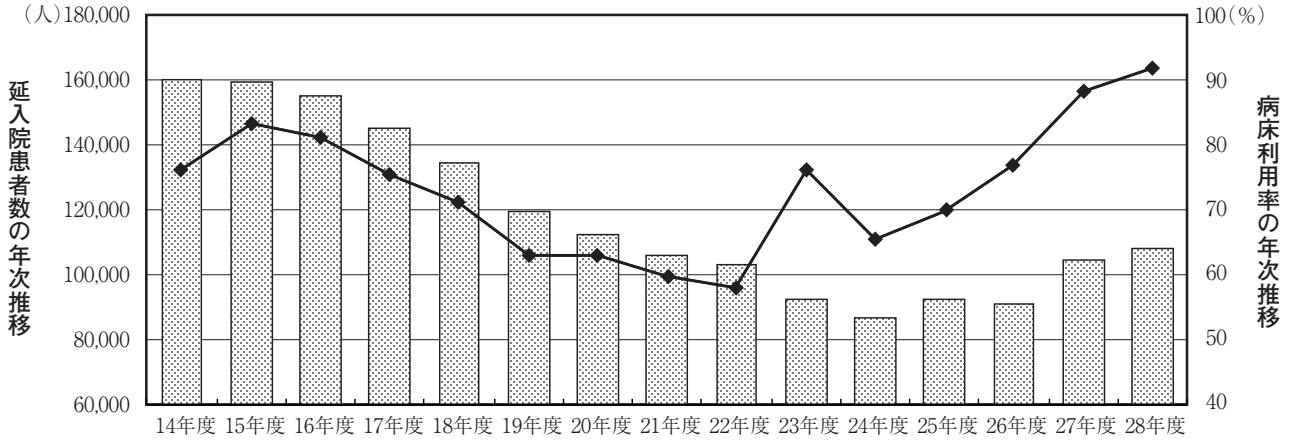
平成28年度は、延患者数108,208人で前年度と比べ3,765人増で対前年度比3.6％増となっている。病床利用率は91.8％で対前年度比3.5ポイントの増となっている。入院患者は前年度に比べ7.4％増となっている。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比１ポイント減、医療保護入院が0.8ポイント減、措置入院が2.2ポイント増、鑑定入院は0.1ポイント減となっている。

ア 月別入退院患者数

年度	区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28	入院	85	93	79	97	88	97	96	84	88	92	94	96	1,089
	退院	84	84	87	88	102	90	97	85	89	101	81	100	1,088
	延患者数	8,897	9,310	9,055	9,170	9,299	8,809	9,342	8,869	9,042	8,991	8,224	9,200	108,208
	病床利用率	91.8	93.0	93.4	91.6	92.9	90.9	93.3	91.5	90.3	89.8	90.9	91.9	91.8
27	入院	78	83	85	88	72	82	77	81	95	80	105	88	1,014
	退院	73	78	81	76	82	80	89	90	77	64	106	94	990
	延患者数	8,125	8,571	8,632	9,075	9,103	8,369	8,815	8,143	8,642	9,139	8,505	9,324	104,443
	病床利用率	83.8	85.6	89.1	90.6	90.9	86.4	88.0	84.0	86.3	91.3	90.8	93.1	88.3

（注）月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



ウ 病類別新入院患者数

年度	区分＼病類（ICD）	脳器質性精神障害（F0） 老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0） その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1） アルコール	中毒性精神障害（F1） 覚醒剤	中毒性精神障害（F1） その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計
28	男	1	1	146	25	7	180	80	20	0	4	6	2	97	569
	女	2	2	39	12	7	155	100	62	0	16	1	1	123	520
	計	3	3	185	37	14	335	180	82	0	20	7	3	220	1,089
	構成比	0.3	0.3	17.0	3.4	1.3	30.8	16.5	7.5	0.0	1.8	0.6	0.3	20.2	100.0
27	男	6	1	122	31	7	178	87	20	0	4	8	2	60	526
	女	2	0	47	20	6	183	104	41	3	10	0	1	71	488
	計	8	1	169	51	13	361	191	61	3	14	8	3	131	1,014
	構成比	0.8	0.1	16.7	5.0	1.3	35.6	18.8	6.0	0.3	1.4	0.8	0.3	12.9	100.0

エ　病類別・年齢別入院患者数

年度	年齢	区分	脳器質性精神障害（F0） 老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0） その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1） アルコール	中毒性精神障害（F1） 覚醒剤	中毒性精神障害（F1） その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	年齢構成比
28	19歳以下	男						32	2	9			3		19	65	11.7
		女						21	3	18			1		19	62	
		小　計						53	5	27			4		38	127	
	20～29歳	男			8	3	2	22	2	3		1	2		18	61	13.8
		女			3	5	2	17	10	19		8	0		25	89	
		小　計			11	8	4	39	12	22		9	2		43	150	
	30～39歳	男			20	6	1	21	9	2		2		1	21	83	16.3
		女			9	2	1	26	17	8		3		0	29	95	
		小　計			29	8	2	47	26	10		5		1	50	178	
	40～49歳	男			38	7	4	47	30	4		1	1		26	158	24.4
		女			11	4	1	34	26	8		5	0		19	108	
		小　計			49	11	5	81	56	12		6	1		45	266	
	50～59歳	男		1	46	7	0	40	29	2				1	7	133	19.6
		女		0	11	1	2	25	17	5				0	19	80	
		小　計		1	57	8	2	65	46	7				1	26	213	
	60～69歳	男	1	0	26	1	0	16	6	0				0	1	51	9.6
		女	1	1	4	0	1	23	13	3				1	6	53	
		小　計	2	1	30	1	1	39	19	3				1	7	104	
	70歳以上	男	0	0	8	1		2	2	0					5	18	4.7
		女	1	1	1	0		9	14	1					6	33	
		小　計	1	1	9	1		11	16	1					11	51	
	計	男	1	1	146	25	7	180	80	20	0	4	6	2	97	569	100.0
		女	2	2	39	12	7	155	100	62	0	16	1	1	123	520	
		計	3	3	185	37	14	335	180	82	0	20	7	3	220	1,089	
		構成比	0.3	0.3	17.0	3.4	1.3	30.8	16.5	7.5	0.0	1.8	0.6	0.3	20.2	100.0	

年度	年齢	区分	脳器質性精神障害（F0） 老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0） その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1） アルコール	中毒性精神障害（F1） 覚醒剤	中毒性精神障害（F1） その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	年齢構成比
27	19歳以下	男						32	2	11		2	4		8	59	11.7
		女						31	2	19		0	0		8	60	
		小　計						63	4	30		2	4		16	119	
	20～29歳	男			1	2	1	17	5	6	0	0			16	48	11.6
		女			1	5	1	18	9	8	1	5			22	70	
		小　計			2	7	2	35	14	14	1	5			38	118	
	30～39歳	男			20	10	2	29	14	2		1	1		10	89	17.1
		女			11	8	2	25	19	5		2	0		12	84	
		小　計			31	18	4	54	33	7		3	1		22	173	
	40～49歳	男			32	12	4	44	30	1	0	0	1		17	141	25.0
		女			18	6	2	43	20	2	2	3	0		17	113	
		小　計			50	18	6	87	50	3	2	3	1		34	254	
	50～59歳	男	1	1	38	7	0	28	20	0		1	2	0	7	105	18.1
		女	0	0	16	1	1	27	24	2		0	0	1	7	79	
		小　計	1	1	54	8	1	55	44	2		1	2	1	14	184	
	60～69歳	男			23			22	11	0					1	57	10.7
		女			1			29	15	4					3	52	
		小　計			24			51	26	4					4	109	
	70歳以上	男	5		8			6	5					2	1	27	5.6
		女	2		0			10	15	1				0	2	30	
		小　計	7		8			16	20	1				2	3	57	
	計	男	6	1	122	31	7	178	87	20	0	4	8	2	60	526	100.0
		女		0	47	20	6	183	104	41	3	10		1	71	488	
		計	6	1	169	51	13	361	191	61	3	14	8	3	131	1,014	
		構成比	0.6	0.1	16.7	5.0	1.3	35.6	18.8	6.0	0.3	1.4	0.8	0.3	12.9	100.0	

オ　地域別実入院患者数

居住地域＼年度		28	27
横浜市		682	746
	鶴見区	26	30
	神奈川区	34	45
	西区	23	20
	中区	26	51
	南区	96	94
	港南区	93	118
	保土ケ谷区	45	45
	旭区	24	37
	磯子区	51	53
	金沢区	40	37
	港北区	19	25
	緑区	13	14
	戸塚区	88	78
	瀬谷区	13	20
	栄区	28	24
	泉区	39	27
	青葉区	10	18
	都筑区	14	10
川崎市		57	61
	川崎区	18	14
	幸区	5	10
	中原区	14	9
	高津区	8	9
	宮前区	5	2
	多摩区	2	9
	麻生区	5	8

居住地域＼年度		28	27
横須賀市		48	32
平塚市		9	12
鎌倉市		21	22
藤沢市		51	48
小田原市		5	3
茅ヶ崎市		17	23
逗子市		8	8
相模原市		22	26
三浦市		6	4
秦野市		10	7
厚木市		15	10
大和市		24	12
伊勢原市		7	4
海老名市		7	2
座間市		8	7
南足柄市		1	0
綾瀬市		6	2
三浦郡葉山町		0	0
高座郡寒川町		3	2
愛甲郡		2	1
	愛川町	2	0
	清川村	0	1
中郡		2	5
	大磯町	1	3
	二宮町	1	2

居住地域＼年度		28	27
足柄上郡		2	0
	中井町	0	0
	大井町	1	0
	松田町	1	0
	山北町	0	0
	開成町	0	0
足柄下郡		3	3
	箱根町	1	1
	真鶴町	1	0
	湯河原町	1	2
南足柄市		1	0
県内計		1,017	1,040
東京都		35	43
埼玉県		6	2
千葉県		7	3
茨城県		1	3
群馬県		2	0
栃木県		1	1
静岡県		5	6
その他の県		9	18
県外計		66	76
住所不明		6	0
計		1,089	1,116

カ　入院費負担区分別患者数（平成29年３月末現在在院患者一覧表）

年度	区分＼負担区分	健康保険法 本人	健康保険法 家族	国民健康保険法	生活保護法	精神保健福祉法	感染症法（第37条）	自費	その他	計
28	男	16	17	76	29	7		0	24	169
	女	2	21	52	21	3		0	21	120
	計	18	38	128	50	10		0	45	289
	構成比	6.2	13.1	44.3	17.3	3.5		0.0	15.6	100.0
27	男	17	12	77	31	6		1	20	164
	女	5	21	57	26	4		0	12	125
	計	22	33	134	57	10		1	32	289
	構成比	7.6	11.4	46.4	19.7	3.5		0.3	11.1	100.0

（注）本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ　入院形態別患者数

年度	形態	区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28	任　意	男	19	22	20	23	31	23	28	19	29	26	28	22	290
		女	20	19	19	24	14	18	23	21	16	26	25	25	250
		小　計	39	41	39	47	45	41	51	40	45	52	53	47	540
		構成比	45.9	44.1	49.4	48.5	51.1	42.3	52.6	47.6	51.1	56.5	56.4	49.0	49.6
	医療保護	男	14	16	11	13	17	18	18	17	14	11	14	19	182
		女	20	19	13	20	12	18	10	12	17	15	16	17	189
		小　計	34	35	24	33	29	36	28	29	31	26	30	36	371
		構成比	40.0	37.6	30.4	34.0	33.0	37.1	29.2	34.5	35.2	28.3	31.9	37.5	34.1
	措　置	男	4	7	7	5	8	8	6	5	10	4	8	7	79
		女	6	7	8	7	3	11	6	7	1	8	2	4	70
		小　計	10	14	15	12	11	19	12	12	11	12	10	11	149
		構成比	11.8	15.1	19.0	12.4	12.5	19.6	12.5	14.3	12.5	13.0	10.6	11.5	13.7
	鑑　定	男							1						1
		女	1												1
		小　計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		構成比	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	応　急	男				1	1			1					3
		女		1		1				1					3
		小　計	0	1	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	6
		構成比	0.0	1.1	0.0	2.1	1.1	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	医観法入院処遇	男	1	1		1			1		1	1	1		7
		女				1			3					1	5
		小　計	1	1		2			4		1	1	1	1	12
		構成比	1.2	1.1	0.0	2.1	0.0	0.0	4.2	0.0	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1
	臨床研究	男				1	2	1		1		1		1	7
		女		1	1										2
		小　計	0	1	1	1	2	1	0	1	0	1	0	1	9
		構成比	0.0	1.1	1.3	1.0	2.3	1.0	0.0	1.2	0.0	1.1	0.0	1.0	0.8
	計	男	38	46	38	44	59	50	54	43	54	43	51	49	569
		女	47	47	41	53	29	47	42	41	34	49	43	47	520
		計	85	93	79	97	88	97	96	84	88	92	94	96	1,089
27	任　意	男	22	19	20	24	19	23	17	27	26	12	31	27	267
		女	27	23	21	20	18	19	24	12	20	22	21	19	246
		小　計	49	42	41	44	37	42	41	39	46	34	52	46	513
		構成比	62.8	50.6	48.2	50.0	51.4	51.2	53.2	48.1	48.4	42.5	49.5	52.3	50.6
	医療保護	男	8	19	17	13	15	17	14	10	15	14	17	14	173
		女	12	6	17	20	12	9	12	21	19	18	20	15	181
		小　計	20	25	34	33	27	26	26	31	34	32	37	29	354
		構成比	25.6	30.1	40.0	37.5	37.5	31.7	33.8	38.3	35.8	40.0	35.2	33.0	34.9
	措　置	男	3	6	5	4	5	7	2	4	7	6	8	6	63
		女	4	9	4	3	2	4	4	5	6	4	4	5	54
		小　計	7	15	9	7	7	11	6	9	13	10	12	11	117
		構成比	9.0	18.1	10.6	8.0	9.7	13.4	7.8	11.1	13.7	12.5	11.4	12.5	11.5
	鑑　定	男	1									1			2
		女				1									1
		小　計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
		構成比	1.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.3
	応　急	男							1	1	1		1		4
		女						1							1
		小　計	0	0	0	0	0	1	1	1	1		1		5
		構成比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.3	1.2	1.1	0.0	1.0	0.0	0.5
	医観法入院処遇	男				1		1	1		1	1	2	1	8
		女		1					1					1	3
		小　計	0	1	0	1	0	1	2	0	1	1	2	2	11
		構成比	0.0	1.2	0.0	1.1	0.0	1.2	2.6	0.0	1.1	1.3	1.9	2.3	1.1
	臨床研究	男	1		1	1	1	1	1			2	1		9
		女				1				1					2
		小　計	1	0	1	2	1	1	1	1	0	2	1	0	11
		構成比	1.3	0.0	1.2	2.3	1.4	1.2	1.3	1.2	0.0	2.5	1.0	0.0	1.1
	計	男	35	44	43	43	40	49	36	42	50	36	60	48	526
		女	43	39	42	45	32	33	41	39	45	44	45	40	488
		計	78	83	85	88	72	82	77	81	95	80	105	88	1,014

ク　病類別・在院期間別在院患者数

年度	期間	区分	脳器質性精神障害（F0）老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0）その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1）アルコール	中毒性精神障害（F1）覚醒剤	中毒性精神障害（F1）その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	構成比
28	1年未満	男			22	5	1	49	12	4		1			17	111	71.6
		女			6	2	1	37	21	12		1			16	96	
		小計			28	7	2	86	33	16		2			33	207	
	1～2年	男						23	0	0					1	24	12.1
		女						9	1	1					0	11	
		小計						32	1	1					1	35	
	3～4年	男		1				12								13	5.2
		女		0				2								2	
		小計		1				14								15	
	5～9年	男					0	7								7	3.8
		女					1	3								4	
		小計					1	10								11	
	10～19年	男						9	1							10	5.2
		女						5	0							5	
		小計						14	1							15	
	20～29年	男						4								4	2.1
		女						2								2	
		小計						6								6	
	30年以上	男														0	0.0
		女														0	
		小計														0	
	計	男	0	1	22	5	1	104	13	4		1	0	0	18	169	100.0
		女	0	0	6	2	2	58	22	13		1	0	0	16	120	
		計	0	1	28	7	3	162	35	17		2	0	0	34	289	
		構成比	0.0	0.3	9.7	2.4	1.0	56.1	12.1	5.9		0.7	0.0	0.0	11.8	100.0	

年度	期間	区分	脳器質性精神障害（F0）老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0）その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1）アルコール	中毒性精神障害（F1）覚醒剤	中毒性精神障害（F1）その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	構成比
27	1年未満	男		1	21	5	0	44	12	2		0	1	1	17	104	70.9
		女		0	6	5	1	43	19	6		2	0	0	19	101	
		小計		1	27	10	1	87	31	8		2	1	1	36	205	
	1～2年	男			1			26	0							27	12.5
		女			0			7	2							9	
		小計			1			33	2							36	
	3～4年	男		1	0			6	1							8	4.2
		女		0	1			3	0							4	
		小計		1	1			9	1							12	
	5～9年	男						8								8	4.8
		女						6								6	
		小計						14								14	
	10～19年	男						13	1							14	5.9
		女						3	0							3	
		小計						16	1							17	
	20～29年	男						3								3	1.7
		女						2								2	
		小計						5								5	
	30年以上	男														0	0.0
		女														0	
		小計														0	
	計	男	0	2	22	5	0	100	14	2		0	1	1	17	164	100.0
		女	0	0	7	5	1	64	21	6		2	0	0	19	125	
		計	0	2	29	10	1	164	35	8		2	1	1	36	289	
		構成比	0.0	0.7	10.0	3.5	0.3	56.7	12.1	2.8		0.7	0.3	0.3	12.5	100.0	

ケ　病類別・転帰別退院患者数

年度	転帰	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
28	全快	男														0	0.0
		女														0	
		小計														0	
	軽快	男	2	1	111	17	5	127	68	19		1	5	3	40	399	73.6
		女	1	1	34	13	7	126	97	50		16	1	0	56	402	
		小計	3	2	145	30	12	253	165	69		17	6	3	96	801	
	未治	男			24	6	2	4	7	2		2			3	50	7.9
		女			4	0	2	6	9	6		0			9	36	
		小計			28	6	4	10	16	8		2			12	86	
	転医	男	1	1	10	3	1	50	13	1		2	3		17	102	16.7
		女	2	1	1	0	0	43	5	8		5	0		15	80	
		小計	3	2	11	3	1	93	18	9		7	3		32	182	
	死亡	男						0								0	0.1
		女						1								1	
		小計						1								1	
	鑑定終了	男						1							0	1	0.3
		女						1							1	2	
		小計						2							1	3	
	医観法入院処遇終了	男			1			8	0							9	1.1
		女			0			1	2							3	
		小計			1			9	2							12	
	臨研終了	男							3							3	0.3
		女							0							0	
		小計							3							3	
	計	男	3	2	146	26	8	190	91	22		5	8	3	60	564	100.0
		女	3	2	39	13	9	178	113	64		21	1	0	81	524	
		計	6	4	185	39	17	368	204	86		26	9	3	141	1088	
		構成比	0.6	0.4	17.0	3.6	1.6	33.8	18.8	7.9		2.4	0.8	0.3	13.0	100.0	

年度	転帰	区分	脳器質性精神障害(F0) 老人性精神障害	脳器質性精神障害(F0) その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害(F1) アルコール	中毒性精神障害(F1) 覚醒剤	中毒性精神障害(F1) その他中毒性精神障害	統合失調症(F2)	気分障害(F3)	神経症性障害等(F4)	生理的障害等(F5)	人格障害(F6)	精神遅滞(F7)	てんかん(G4)	その他	計	構成比
27	全快	男															
		女															
		小計															
	軽快	男		2	96	20	25	150	84	22			11		30	440	85.2
		女		0	43	14	20	133	80	63			9		41	403	
		小計		2	139	34	45	283	164	85			20		71	843	
	未治	男			13		5	2	1	0					1	22	3.8
		女			6		6	0	0	3					1	16	
		小計			19		11	2	1	3					2	38	
	転医	男			13	1	10	5	13	3			1		3	49	8.1
		女			3	0	3	7	10	3			1		4	31	
		小計			16	1	13	12	23	6			2		7	80	
	死亡	男						4								4	0.4
		女						0								0	
		小計						4								4	
	鑑定終了	男						2								2	0.3
		女						1								1	
		小計						3								3	
	医観法入院処遇終了	男					2	6					0			8	1.1
		女					0	2					1			3	
		小計					2	8					1			11	
	臨研終了	男							7	0						7	1.1
		女							3	1						4	
		小計							10	1						11	
	計	男		2	122	21	42	169	105	25			12		34	532	100.0
		女		0	52	14	29	143	93	70			11		46	458	
		計		2	174	35	71	312	198	95			23		80	990	
		構成比		0.2	17.6	3.5	7.2	31.5	20.0	9.6			2.3		8.1	100.0	

コ　病類別・在院期間別退院患者数（28年度）

期間	区分	脳器質性精神障害（F0） 老人性精神障害	脳器質性精神障害（F0） その他脳器質性精神障害	中毒性精神障害（F1） アルコール	中毒性精神障害（F1） 覚醒剤	中毒性精神障害（F1） その他中毒性精神障害	統合失調症（F2）	気分障害（F3）	神経症性障害等（F4）	生理的障害等（F5）	人格障害（F6）	精神遅滞（F7）	てんかん（G4）	その他	計	構成比
1年未満	男	3	2	143	26	8	170	89	22		5	7	3	60	538	96.1
	女	3	2	39	13	7	167	111	63		21	1	0	81	508	
	小計	6	4	182	39	15	337	200	85		26	8	3	141	1,046	
1～2年	男			3		0	15	1	0			1			20	3.0
	女			0		2	8	2	1			0			13	
	小計			3		2	23	3	1			1			33	
3～4年	男						0	1							1	0.3
	女						2	0							2	
	小計						2	1							3	
5～9年	男						2								2	0.2
	女						0								0	
	小計						2								2	
10～19年	男						3								3	0.4
	女						1								1	
	小計						4								4	
20～29年	男														0	0.0
	女														0	
	小計														0	
30年以上	男														0	0.0
	女														0	
	小計														0	
計	男	3	2	146	26	8	190	91	22		5	8	3	60	564	100.0
	女	3	2	39	13	9	178	113	64		21	1	0	81	524	
	計	6	4	185	39	17	368	204	86		26	9	3	141	1,088	
	構成比	0.6	0.4	17.0	3.6	1.6	33.8	18.8	7.9		2.4	0.8	0.3	13.0	100.0	

(3)　救急医療の状況

年度	区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28	取扱件数	(10)	(14)	(16)	(15)	(14)	(20)	(14)	(14)	(12)	(11)	(10)	(11)	(161)
		17	31	20	30	22	34	25	23	26	28	27	23	306
	入院	(9)	(12)	(15)	(12)	(12)	(17)	(12)	(14)	(10)	(11)	(10)	(11)	(145)
		12	22	18	19	16	22	19	17	16	18	18	19	216
	外来処置	(1)	(2)	(1)	(3)	(2)	(3)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(16)
		5	9	2	11	6	12	6	6	10	10	9	4	90
27	取扱件数	(16)	(17)	(15)	(15)	(12)	(17)	(12)	(16)	(21)	(20)	(20)	(19)	(200)
		23	21	22	22	17	23	19	20	24	30	26	23	270
	入院	(10)	(15)	(12)	(11)	(11)	(13)	(8)	(12)	(19)	(14)	(18)	(16)	(159)
		10	17	15	12	15	14	11	12	20	18	20	17	181
	外来処置	(6)	(2)	(3)	(4)	(1)	(4)	(4)	(4)	(2)	(6)	(2)	(3)	(41)
		13	4	7	10	2	9	8	8	4	12	6	6	89

（注）（　）は、精神保健診察件数で内数

5　業務の状況

(1)　看　護

看護局概要

病棟機能と看護職員配置（平成28年４月３日現在）

副院長兼看護局長　１名　　副看護局長（業務担当）１名
（教育担当）１名

病棟名	病 棟 機 能		病　床　数	看護科長	看護職員定数	病棟技能員
２Ａ	身体ケア	閉鎖病棟	35（準保護室 11） 結核病床（2）	1	21	3
２Ｂ	依存症	開放病棟	45（準保護室 7）	1	21	1
３Ａ	地域移行支援	閉鎖病棟	40（準保護室 6）	1	17	1
３Ｂ	ストレスケア	開放病棟	30（準保護室 3）	1	17	1
４Ａ	高度ケア	閉鎖病棟	40（保護室 6・準保護室 6）	1	25	1
４Ｂ	思春期	閉鎖病棟	45（保護室 1 ・準保護室 6）	1	21	1
５Ａ	救急	閉鎖病棟	30（保護室 10・準保護室 2）	1	32	1
５Ｂ	救急	閉鎖病棟	45（保護室 4・準保護室 5）	1	25	1
Ｆ	医療観察法病棟	閉鎖病棟	33	1	43	1
小　計			323（稼動病床数）	9	222	11
外　　来				1	10	1
医療安全推進室					1	
地域医療相談室					4	
デイ・ケア					1	
看護教育科					2	
看　護　局					3	
合　計			323	10	243	12

看護局活動

看護局ミッション

患者さんに寄り添い、自己決定・自立を支援し、患者さんと共に可能性にチャレンジします。

看護局ビジョン

1．患者さんやご家族の尊厳および人権を尊重し、患者さんの意思決定を支援します。
2．精神科看護の専門性を追求し、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護を提供します。
3．患者さんの社会生活を支えるため、チーム医療の推進者としての役割を発揮します。
4．看護の本質を追究し、誇りとやりがいを持てる人材を育成します。

平成28年度看護局目標評価

看護局目標：　1．患者さん一人ひとりの思いを大切にし、患者さんが生活の目標を見だせるよう支援します。
2．セクションの専門性を活かし、地域連携を目指したチーム医療を推進します。
3．組織全体で協力し合う職場環境を作ります。

Ⅰ　患者さん一人ひとりの思いを大切にし、患者さんが生活の目標を見だせるよう支援します。

【チームカンファレンスの実施】

地域移行支援病棟においては、家族・地域を含む患者参加多職種カンファレンスンスを年間181件実施し、68名の患者を退院へ繋げることができた。救急病棟においては、初期カンファレンスは100%実施することができたが、患者参加カンファレンスに関しては計画通り実施することができなかった。統合失調症、抑うつクリニカルパス適応者のカンファレンスは100%実施することができ、予定通りにステップアップが図られた。

【医療安全】

ヒヤリ・ハット報告件数は、841件（平成27年度863件）である。レベル０・レベル１報告も平成27年度80%・平成28年度84%と報告が推進された。内訳では内服薬に関連するものが昨年度より減少したが、与薬忘れ、落下発見、日時間違えが多く全体の58%を占めていた。転倒予防にセンサーマット、サイド・センサー、眠りスキャンを推進するとともに、新たに患者向け【転倒予防体操】に取り組んだ結果、平成27年度170件が平成28年147件と減少した。

【各種マニュアル・看護基準・手順の整備】

感染環境会議担当者によって、感染対策マニュアルの改訂を実施した。ICTラウンドチェック表の改訂にはICTの担当者が取り組み、今後活用し評価を行っていく。

【外来看護の充実】

対応困難患者や家族支援に活かすため、精神科看護専門看護師（CNS）による看護外来を継続して54名に実施した。男女比、疾患の内訳は（図１，２）F2の統合失調症圏、F3気分障害圏で過半数を占めていた。その他、認知症とアルコール依存症を合わせて約25%であった。看護外来に通う頻度は外来診療と合わせた人が多く、頻度としては月１回程度が最も多かった。

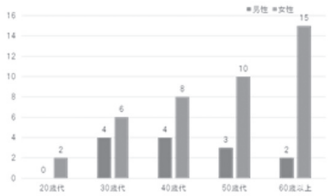


図1　H28看護外来における男女別年齢分布

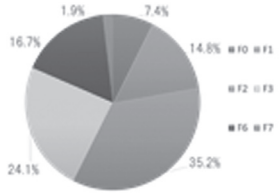


図2　看護外来患者のICD分類

Ⅱ　セクションの専門性を活かし、地域連携を目指したチーム医療を推進します。

【病床利用率の向上】

年間目標値90.5%に対し年間91.8%の病床利用率を達成することができた。地域連携室を含めたベッドコントローラー体制を整備したことと、看護科長による病棟間調整を推進した結果病床利用率向上することができた。

各病棟年間病床利用率

	2A	2B	3A	3B	4A	4B	5A	5B	F
目標値	91.0%	91.0%	91.0%	90.0%	91.0%	80.0%	90.0%	90.0%	95.0%
実績値	92.3%	95.1%	95.5%	94.6%	97.6%	76.6%	89.7%	96.6%	82.6%

【行動制限最小化】

行動制限評価検討会議で、多職種による病棟ラウンドを行い行動制限最小化への取り組みを実施した。

＊５月から第２木曜日の部長回診の際、行動制限ラウンドを（５月・６月・７月・９月･10月･11月・12月・１月・２月）実施し、ラウンド内容を行動制限評価検討会議で発表、ラウンド効果を共有し行動制限最小化に貢献することができた。

【クロザピン専門病床（クロザピンユニット）の運用結果】

統合失調症難治患者の社会復帰を支援するため、クロザピンの専門病床（クロザピンユニット）を設置した。クロザピン投与による白血球減少症などのリスクが高くなるため、血液検査は不可欠である。すべての患者を適正委員会に登録するとともに、適切なケアが提供できるようCPMSコーディネーター取得を推進した結果、平成28年度クロザピン患者36名を受け入れることができた。

【サプライ物品の適正化】

６月に行った各病棟へのサプライラウンドは、昨年度と内容を一部変更し在庫数のカウントを行い、期限切れ確認は各病棟に移譲した。その結果、各病棟で予定数管理運営が行われていた。

Ⅲ　組織全体で協力し合う職場環境を作ります。

【キャリアラダーステップアップ支援】

申請者全員が各セクションで支援を受け合格することができた。

	ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	ステップⅣ
参加人数	16 人	5 人	10 人	
合計人数	30 人	48 人	63 人	49 人

【よりよい職場風土の推進】

スタッフ間で患者情報共有し（自病棟だけでなく他病棟への関心を高め）患者状態を把握したベッドコントロールを行い、土日祝日、夜間においての支援体制を強化するとともに、業務上安全を考慮しながら年休取得推進や技能員の協働体制を推進した。

【看護科長業務検討】

①　ラダー見直しに伴う院内研修グループ

日本看護協会で全国の多様な施設や職場で働く看護師の看護実践能力を、適切な評価によって保証するために、標準化されたクリニカルラダーを開発した。それを受け神奈川県立病院機構看護師新「県立病院機構看護職　キャリア形成過程」と、精神医療センター「キャリア形成・支援システム」の見直しを行い、各ステップのおける能力到達目標を改定した。

②　働きやすい職場つくりグループ

精神科看護必要度に対する取り組みを行い、精神科看護の可視化ができるように当院独自の追加項目を作成し、各病棟において看護必要度を実施した。結果、看護計画と看護記録の読み取りに捉え方の違いがあることと、意図的な関わりの記録が必要であることが課題として浮き彫りとなった。

【研修会・運営支援】

①　医療観察法関連職種研修会開催支援　平成28年７月１日・２日に開催　505名の参加者を募り実施した。

②　全国自治体病院精神科特別部会看護部会・関東ブロック研修会を平成29年１月20日、院外より55名の参加者を迎え開催し、アンケートでは満足71%・ほぼ満足29%の結果であった。

平成28年度　院内教育研修実施状況

研修名		目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数
採用時	採用時研修	1．精神医療センターの概要を理解し、組織・環境・業務への適応を図る 2．専門職業人としての自覚を促す	4/1(金) 4/4(月) 4/6(水) -4/8(金)	5日間 8:30-17:15	・講義 ・演習（4/7） ・病院見学	平成28年度新採用者、転入者、前年度採用者	22名
支援プログラム	基礎技術研修① （精神科看護技術）	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ	4/28(木)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・デモンストレーション ・演習	平成28年度新採用者、その他看護科長が認めた者	20名
	基礎技術研修② （救急蘇生法）	看護者として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	6/16(木)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・シュミレーション ・演習	平成28年度新採用者、その他看護科長が認めた者	19名
	フォローアップ研修 （新卒新採用）	入職してからの２ケ月を振り返り、今後の看護実践への活力につなげる	6/3(金)	4時間15分 13:00-17:15	・自然散策 ・GW	平成28年度新卒 新採用者	16名
	フォローアップ研修 （既卒・転入）	入職してからの様々な思いや看護を仲間と共有し、精神医療センターの看護師として、これまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	5/30(月)	2時間15分 15:00-17:15	・GW	平成28年度既卒新採用者及び平成27年度中途採用者	3名
ステップⅠ	看護倫理 （看護専門職としての倫理）	専門職としての倫理を再確認し センターの看護師としての行動につなげる	5/27(金)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・GW	ステップⅠを申請する者	19名 聴講 ４名
	看護過程Ⅰ （看護理論の理解） 院内公開	V. ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	7/20(水)	2時間45分 14:30-17:15	・講義	ステップⅠを申請する者	20名
			9/20(火)	3時間45分 13:30-17:15	・GW		聴講 ４名
	チームメンバー研修	看護チームについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	12/19(月)	3時間45分 13:30-17:15	・リーダーシャドー ・講義 ・GW		18名
ステップⅡ	看護倫理Ⅱ （精神科看護と倫理） 院外公開 （公開講座）	精神科看護における倫理的課題について理解する	7/4(月)	1時間45分 15:00-16:45	・講義	ステップⅠ以上の者 または看護科長がみとめる者 ＊ステップのない者が受講する場合は看護倫理Ⅰを聴講すること	11名
			7/26(火)	3時間15分 14:00-17:15	・GW		院外 聴講 ７名
	リーダーシップⅠ （チーム医療におけるリーダーシップ）	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う	11/18(金)	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・GW	ステップⅠ以上の者 または看護科長が認めた者	16名
	看護過程Ⅱ （理論を活用した看護過程の展開）	自己の看護を客観的に見つめ、個別性を踏まえた看護実践について考える	12/2(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW	ステップⅠ以上の者 または看護科長が認めた者 ＊ステップのない者が受講する場合は看護過程Ⅰを聴講すること	13名
			平成29年 1/27(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW		
	地域連携研修 （ピア・サポーター）	地域で生活する患者の思いを知り、日々の看護に役立てることができる	10/31(月)	3時間45分 13:30-17:15	・地域で生活する患者講演２名 ・GW	ステップⅠ以上の者 または看護科長が認めた者	14名

	研修名	目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数
ステップⅢ	地域連携研修Ⅱ	1．社会における精神医療の動向を知ることができる 2．地域で暮らす患者の生活状況を知り、看護実践に活かすことができる	9/29(木)	2時間45分 14:30-17:15	・講義	ステップⅡ以上の者 または看護科長が認めた者	19名
			10/20(木)	1日 8:30-17:15	・施設見学 ・GW		
			11/7(月)	2時間 14:30-16:30	・GW		
	リーダーシップⅡ （問題解決）	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップを発揮した問題解決への取り組みができる	6/17(金)	3時間15分 14:00-17:15	・講義 ・GW	ステップⅡ以上の者 または看護科長が認めた者	16名
			7/29(金)	3時間15分 14:00-17:15	・GW		
			10/7(金)	3時間15分 14:00-17:15	・GW		
			12/20(火)	4時間15分 13:00-17:15	・発表		
	看護過程Ⅲ （看護理論の活用①）	日々の看護実践を振り返り、情報や判断の根拠を論理的思考によって明らかにする能力を培う	9/8(木)	2時間15分 15:00-17:15	・講義 ・オリエンテーション	ステップⅡ以上の者 または看護科長が認めた者	16名 聴講 7
			10/18(火)	3時間15分 14:00-17:15	・GW		
			11/25(金)	3時間15分 14:00-17:15	・GW		
			平成29年 1/30(月)	3時間45分 13:30-17:15	・発表		
	教育指導研修Ⅰ	人材育成を学び、後輩指導や学生指導の場面で実践することができる	6/24(金)	3時間30分 8:30-12:00	・講義 ・GW	ステップⅡ以上の者 または看護科長が認めた者	22名
			10/28(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW		
ステップⅣ	看護過程Ⅳ （看護理論の活用②）	自身で看護理論を選択して看護過程を展開、精神看護について理解を深める	10/3(月)	1時間15分 16:00-17:15	・講義	ステップⅢ以上の者 または看護科長が認めた者 ＊看護過程Ⅲの講義を聴講すること	7名
			11/15(火)	3時間30分 13:30-17:00	・GW		
			2/17(金)	3時間15分 14:00-17:15	・事例発表 ・GW		
	教育指導研修Ⅱ	自己の経験を意味づけし、実践を適切に伝える力を養う	6/6(月)	3時間45分 13:30-17:15	・講義	ステップⅢ以上の者 または看護科長が認めた者	5名
			9/16(金)	3時間45分 13:30-17:15	・GW		
			12/5(月)	2時間30分 13:30-16:00	・発表 （公開）		
			12/12(月)	3時間45分 13:30-17:15	・発表 （公開）		
	看護研究	日常の課題を研究的視点でとらえ探求のためのリーダーシップが取れる	4/26(火)	1時間15分 16:00-17:15	・オリエンテーション	ステップⅢ以上の者 または看護科長が認めたもの ＊その他平成28年度看護研究に取り組む者	3名
			5/9(月)	1時間15分 16:00-17:15	・講義		
			5/17(火)	1時間15分 16:00-17:15	・講義		
			6/27(月) 10/31(月) 12/13(火)	受講者 各30分	・外部講師指導		
		看護研究活動を通して得た成果を発表し、相互の学びとする	平成29年 2/24(金)	1時間 16:00-17:00	・発表		
	管理研修（院内）	看護管理に必要な基礎知識を学び、セクションの管理課題について考えることができる	6/20(月)		・機構研修管理Ⅱを聴講	ステップⅢ以上の者 または看護科長の認めたもの	3名
			8/3(水)	2時間 10:00-12:00	・GW		
			9 月 ~10 月	各受講者による 1日～3日以内	・他部署での研修		
			11/29(火)	2時間15分 15:00-17:15	・GW		
			平成29年 2/15(水)		拡大科長会議 に参加		

研修名		目　　的	研修日	時　間	方　法	対象者	人　数
ステップⅤ	教育活動	ポイント制　24年度以降の研修ポイントから適応する。 ＊累計50ポイントで申請可能。 教育活動・研究活動の双方は必ずポイントを取る。ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得すること。				ステップⅣ以上の者 または看護科長が認めた者	1名
	研究活動						1名
	管理研修（院外）	セクション看護科長とキャリア面接をし、管理課題を明確にする。 この管理課題を基に他施設で１ケ月程度の研修を行う。					1名
役割研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組むための能力を養う	4/15㈮	3時間30分 8:30-12:00	・病棟科長のシャドー	平成28年度 新主任看護師	7名
			4/19㈫	3時間15分 14:00-17:15	・講義 ・GW		
	プリセプターⅠ	プリセプターシップについて理解し、プリセプターとしての役割行動につなげることができる	平成29年 2/13㈪	3時間45分 13:30-17:15	・講義 ・GW	平成29年度プリセプター担当者	1名
	プリセプターⅡ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとして関わりの方向性を明確にできる	6/9㈭	3時間45分 13:30-17:15	・GW	平成28年度プリセプター担当者	19名
	実習指導者研修	実習指導者としての役割と関わりについて学習し、今後の指導の手がかりを得る	5/26㈭	1時間15分 16:00-17:15	・講義	平成28年度実習指導者会議メンバー、または看護科長が認めた者	25名
			10/27㈭	1時間15分 16:00-17:15	・GW		22名
その他	新人看護師育成研修	精神科の看護師として専門性を追求ための基盤を整えると共に、広く知見を集積して今後のキャリア支援に役立てる	5月～	各回１時間 17:30-18:30	・講義	卒業後１～５年	17名
	セクション間交流	他部署の看護を体験し、自セクションの看護を振り返る機会とする	11月～2月	1日-5日間	・他セクションで研修	全職員（優先順位有）	0名
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	7/14、15 8/1，2 再試験 8/23	プログラムによる	・講義 ・演習 ・試験 （筆記・技術）	看護師が行う静脈注射プログラム規定による	17名
精神看護専門研修	精神看護専門研修	精神看護の専門領域における実践能力を高め』質の高い看護を提供するために必要な能力の向上を図る	期間：2年 ＊H28年度は２年目 6/24㈮ 10/21㈮ 12/9㈮	受講者 各30分	・外部講師指導	精神科看護経験4年間ある者、キャリア開発過程ステップⅢ以上の者	6名 聴講 ()
		看護研究活動を通して得た成果を発表し、相互の学びとする	H29年 2/24㈮	2時間 14:00-16:00	・発表		
講演	認定看護師企画	①アディクションとうつ	7/14㈭	1時間 17:30-18:30	・講義	全看護職員 院外看護職員	47名 （院外5）
		②精神疾患を抱える方の退院調整	10/13㈭	1時間 17:30-18:30			29名 （院外5）
		③イレウスの予防と早期発見の看護ケア	11/10㈭	1時間 17:30-18:30			36 （院外2）
		④思春期精神科看護で学んだこと	12/8㈭	1時間 17:30-18:30			23 （院外1）
		⑤精神看護における家族支援	平成29年 1/12㈭	1時間 17:30-18:30			21名
	看護局企画	接遇研修	9/27㈫	1時間15分 16:30-17:45	・講義 （院内職員）	全看護職員 院内職員	59名
		救急蘇生	11/14㈪	1時間30分 16:30-18:00	・講義 （外部講師）		61名
	伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする	平成29年 3/10㈮	45分 16:30-17:15	・講習会	全看護職員	51名

平成28年度学会・院外研修参加状況

主　　催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
日本精神科看護協会	第41回　日本精神科看護学術集会	岩手	6/10～12	1
	第23回　日本精神科看護学会専門学術集会	新潟	11/26・27	5
日本看護協会	第47回　日本看護学会 -精神看護-	青森	9/15・16	4
	通常総会・全国職能別交流集会	千葉	6/7～9	1
精神科救急学会	第24回　日本精神科救急学会学術総会	福岡	10/7・8	1
日本アディクション看護学会	第15回　日本アディクション看護学会学術集会総会	兵庫	9/3・4	1
日本アルコール・アディクション医学会	第51回　日本アルコール・アディクション医学会学術総会	東京	10/7・8	3
全国自治体病院協議会	第55回　全国自治体病院学会	富山	10/20・21	1
神奈川県看護協会	第18回　神奈川看護学会	県内	12/3	1
神奈川県立病院機構本部	新採用職員研修	県内	4/5	23
	看護職員研修 専門Ⅰ	県内	7/9・9/12	2
	看護職員研修 専門Ⅱ	県内	7/26・27	2
	看護職員研修 管理Ⅰ	県内	6/13	1
	看護職員研修 管理Ⅱ	県内	6/20・11/28	5
	看護職員研修 管理Ⅲ	県内	7/21・1/27	4
神奈川県	神奈川県相談支援従事者現任研修	県内	9/13・9/14・10/18	1
保健福祉大学実践教育センター	認定看護管理者教育課程　ファーストレベル	県内	4/9～9/30	2
全国自治体病院協議会	接遇トレーナー養成研修会	東京	8/17～19	2
厚生労働省国立病院機構 久里浜医療センター	アルコール依存症臨床看護研修①	県内	6/6～10	1
	アルコール依存症臨床看護研修②	県内	11/14～18	1
神奈川県看護協会	A群 入院から行う退院支援	県内	7/22	1
	A群　褥瘡対策のためのアセスメントと予防ケアの実際	県内	6/10	1
	A群　感染管理 －リンクナースのための活動支援研修－	県内	6/2・3	1
	A群　隣地実習指導者研修	県内	7/4・5	1
	B群　医療安全管理者養成研修	県内	9/8・9・16・30、10/6・7・17	1
	D群　家族看護	県内	H29/1/26	1
日本精神科看護協会（東京会場）	精神科における医療事故と医療事故調査制度	東京	5/22	1
日本精神科看護協会 (神奈川県支部)	精神科初任者研修（精神科経験１～３年）	県内	6/6・7	20
	アンガーマネジメントの理解	県内	7/21	3
	成人の発達障害の看護	県内	9/5	1
	行動制限最小化看護	県内	10/25	1
	精神科における地域での生活支援	県内	11/7	4
	身体合併症看護	県内	12/20	3
	複雑化する気分傷害の看護	県内	H29/1/23	2
よこはま看護専門学校	ユニフィケーション公開授業	県内	7/12	4
	実習指導者研修会	県内	8/3	11
横浜市病院協会看護専門学校	実習指導者研修会	県内	8/24	4
SST普及協会	SST初級研修	県内	7/16・17	2
	SSTワークショップ	福岡	8/19・20	1
依存症施設見学	横浜ダルク・ケアセンター	県内	H29/3/7	3

主　　催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所【精神保健に関する技術研修】	第14回　多職種における包括型アウトリーチ研修	東京	8/31～9/2	1
	第18回　薬物依存臨床看護等研修	東京	9/6～9	2
	第11回　司法精神医学研修	東京	10/25・26	3
	第８回　薬物依存症に対する認知行動療法研修	東京	11/7～9	1
国立精神・神経医療研究センター／認知行動療法センター	感情障害に対する診断を超えた認知行動療法統一プロトコル研修	東京	8/19・20	1
			合　計	136

平成28年度　講師派遣等実績

１．見学・実習（受け入れ）

項　　目	対　象　者	人　数	実施月
神奈川県立保健福祉大学保健医療福祉論Ⅰ・現場訪問	大学生	20名	８月
訪問看護ステーション	看護師	２名	６月
県立病院	看護師・精神保健福祉士	２名	12月
職場体験	中学生	３名	11月
職場体験	中学生	４名	２月
病院研修	看護師・精神保健福祉士	６名	11月
病院研修	看護師	２名	10月
認定看護管理者教育課程サードレベル	看護師	１名	９月
病院研修	看護師・事務局長	２名	８月
病院研修	看護学校教員	１名	10月
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	看護師	２名	H29.１月
病院見学	看護学生･看護師	39名	通年
茨城県立こころの医療センター	看護師・作業療法士	４名	H29.１月
新潟県立精神医療センター	看護師（看護科長）	３名	H29.２月
インターンシップ	看護学生･看護師	41名	７月・８月・H29.３月

２．講師派遣等実績

学　校　等	科　目　名	氏　　名
横浜中央病院付属看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ　８時間	中島しのぶ
	精神看護方法論Ⅱ　10時間	安藤　　馨
	看護研究発表会	池田　康子
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神看護方法論Ⅰ 治療・検査・症状のある人の看護 8時間	斉藤　充史
	精神看護学総論 社会の変化とメンタルヘルスを考える　４時間	安藤　　馨
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神看護方法論Ⅰ　12時間	中満　千夏
	精神看護方法論Ⅰ　６時間	中居　　勝
神奈川県立よこはま看護専門学校	精神看護学Ⅲ　４時間	大場なつき
小田原高等看護専門学校	３学年合同研修　依存症について知る	八巻　倫世
東京都立荏原看護専門学校	精神に障害を持つ人の理解	石田　正人
神奈川県立平塚看護専門学校	精神看護学Ⅲ　22時間	高坂　　彰
	看護の統合Ⅰ　２時間	脇島　千晶
横浜市医師会看護専門学校 第一看護学科	精神看護学Ⅰ　８時間	山田　直美
	精神援助論Ⅰ　８時間	佐藤　光年
横浜市医師会看護専門学校 第二看護学科	精神援助論Ⅰ　８時間	小林　重太
神奈川県立保健福祉大学	精神看護学Ⅱ	佐藤　泰幸
		山之口　唯
神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	実習指導者講習会　看護論　16時間	岸良　俊弘
	実習指導者講習会　実習指導の実際　16時間	佐藤　泰幸
北里大学大学院看護学研究科	精神看護学Ⅲ	石田　正人
東京医療保険大学	精神看護援助論Ⅰ	石田　正人
国際医療福祉大学	精神看護学演習	石田　正人
学研　メディカルサポート	看護師が行う退院支援コーディネート	石田　正人
	精神科病院リスクマネージャーのつぶやき	長　　文枝
神奈川県立中井やまゆり園	研修委員会行動制限研修	石田　正人
厚生労働省委託事業　DPAT事務局	DPAT研修／DPAT先遣隊研修	石田　正人
	熊本地震	石田　正人
かながわ福祉サービス振興会	精神障碍者ホームヘルパー研修 精神疾患の理解と対応	石田　正人
大塚製薬（横浜/東京支店）	社内勉強会	石田　正人
神奈川県看護協会	精神疾患の理解	石田　正人
神奈川県看護協会	精神科訪問看護に必要な薬物療法	井上　美紀
特定非営利活動法人 のびの会	第８回夏のパーソナリティ障害講演会	安藤　馨
神奈川県看護協会	多施設合同研修（新人・実習指導者）	佐藤　泰幸
日本精神科看護協会神奈川県支部	精神科初任者研修	石田　正人
	複雑化する気分傷害の看護	安藤　　馨
	「こころの日」薬物乱用防止教育	菊池千佳子 黒田　明仁
神奈川福祉サービス振興会	精神障害者ホームヘルパー/困難事例	石田　正人
横浜市立蒔田中学校	職業人講話	嘉山　一壽
座間市立南中学校	職業人講話	中谷　　将

学　校　等	科　目　名	氏　　名
神奈川県立病院機構	専門コースⅠ	高橋　富子
	専門コースⅡ	石田　正人
	管理コースⅠ	曽我　孝子 脇島　千晶
	管理コースⅡ	片平　紀子
	管理コースⅢ	嘉山　一壽
藤沢市青少年指導員協議会	青少年の心理と精神不安定について	福田　里美
大塚製薬（横浜/東京支店）	社内勉強会	石田　正人
久里浜医療センター	なぎさ病棟　ピアレビュー	加藤　充弘
横浜ほうゆう病院	包括的暴力対策プログラム研修	中谷　　将 岸野　　誠 阿部　由香
神奈川ストーマ研究会	ストーマケア	市六　輝美
日本経腸栄養学会	栄養ケアにおける看護アウトカム	市六　輝美
日向台病院	行動制限最小化看護	中谷　　将
茨城県立こころの医療センター	薬物依存研修会	山口二三子

３．執　筆

掲　載　先	内　　容	氏　　名
精神科看護，43巻12号， P17-21，2016．12	行動制限最小化に向けての観察とは	中谷　　将

４．学会発表等

1　山口二三子，堀内恵美子，山口いずみ：感情に焦点をあてた物質使用障害多職種協働包括的プログラム～SCOP（Serigaya Collaboration for Open heart Project）を実践する中での看護師の気づき～，第47回日本看護学会―精神看護―，９月

2　黒川由美子，菊池千佳子，八巻倫世，安齋亜沙乃：人とのつながりを取り戻す依存症プログラム「SCOP」の可能性～自分の感情を掘り起こした患者さんの変化から～，第15回日本アディクション看護学会学術集会，９月

3　佐藤泰幸，福田里美，中野啓太，白石礼子：思春期病棟に入院する子ども達が形成するグループの様相―治療環境を整える為の一考察―，第23回日本精神科看護専門学術集会，11月

4　吉川和世：精神科救急病棟で保護室を使用している患者への対応による看護師のストレス～唾液アミラーゼ活性とPOMSによるストレス要因～，第23回日本精神科看護専門学術集会，11月

5　福田美也子，千葉莉穂，石田正人，佐藤直美，高橋富子：終末期に意思表示が困難となった統合失調症患者への支援～精神科長期入院患者一症例の経過から～，第23回日本精神科看護専門学術集会，11月

6　大江久美子，中満千夏:精神科病院における歯科の現状～医療観察保護病棟における口腔ケアの現状を通して～，第23回日本精神科看護専門学術集会，11月

7　齊藤敬子：精神科病院訪問看護から地域の訪問看護ステーションへ移行した事例の要因分析～効果的な地域連携をめざして～，全国自治体病院学会，10月

8　安倍理恵，井口真理子：ストレスケア病棟看護師の「異和感」と感情のコントロール～「異和感の対自化」からの考察～，神奈川看護学会，12月

9　井ノ口恵子，堀内恵美子：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program（SMARPP）をデイケアへ導入した実践報告，平成27年度アルコール薬物関連学会合同学術集会，10月

10　堀内恵美子，中村久美子，堀幸子，板橋登子、井上恭子，早坂透，黒澤文貴，小林桜児：依存症専門外来における外来SCOPの取り組み(1)―プログラムの開発と構造―，第51回日本アルコール・アディクション医学会学術総会，10月

11　中村久美子，堀内恵美子，堀幸子，板橋登子、井上恭子，早坂透，黒澤文貴，小林桜児：依存症専門外来における外来SCOPの取り組み(2)―自助グループへ繋がった事例―，第51回日本アルコール・アディクション医学会学術

総会，10月

12　堀幸子，堀内恵美子，中村久美子，板橋登子、井上恭子，早坂透，黒澤文貴，小林桜児：依存症専門外来における外来SCOPの取り組み(3)―事例からの考察－，第51回日本アルコール・アディクション医学会学術総会，10月

13　安藤馨：アディクション患者との信頼関係作り～太陽的対応による患者-看護師関係の変化～，日本精神科看護協会神奈川県支部看護研究発表会，10月

14　嘉山一壽：人材育成～言葉で伝える看護の可視化～看護管理者が考える人材育成，第54回全国自治体病院協議会精神科特別部会，８月

５．交流研修実施状況

研　修　施　設	日　程	実施地	人　数
神奈川県立がんセンター	9/1～11/30	県内	1

６．薬物乱用防止教室における講師派遣

学　校　・　団　体	対　象　者	人　数（人）
秀英高等学校	学生	135
	教員	10
神奈川県立七里ガ浜高等学校	学生	356
	教員	18
大和市立大和中学校	学生	283
神奈川県立湘南台高等学校	学生	275
	教員	20
鎌倉市手広中学校	学生	106
	教員	6
横浜市立芹が谷中学校	学生	120
神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	学生	280
	教員	15
神奈川県立横浜栄高等学校	学生	279
	教員	17
神奈川県立元石川高等学校	学生	320
小田原市立白鴎中学校	学生	104
	教員	10
神奈川県立神奈川工業高校	学生	300
	教員	20
神奈川県立霧が丘高等学校	学生	396
	教員	20
小田原市城南中学校	学生	64
	教員	6
小田原市城山中学校	学生	122
	教員	7
葉山町立南郷中学校	学生	95
	教員	7
横浜市立いずみ野中学校	学生	176
	教員	10
神奈川県立鶴嶺高等学校	学生	295
	教員	17
神奈川県立藤沢工科高等学校	学生	450
	教員	30

平成28年度　看護師等実習生受入実績　　神奈川県立精神医療センター

学校名		5月					6月				7月				8月					9月				10月					11月				12月				1月					2月				学校別年間実習生数	
各学校の希望日程・人数（斜線・下段は、調整了解済み）		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	6	13	20	27	実人数（人）	延人数（人）
横浜市医師会看護専門学校（3年課程・2年生）	人数																																					9	9	9		10	10	10		19	228
	日数																																					12				12				24	
横浜市病院協会看護専門学校	人数		5	5						4	4		5	5					5	5		5	5		4	4																					28	214
	日数		8							8			7						8			7			8																					46	
横浜中央病院附属看護専門学校	人数													5	5						5	5										10	10													20	175
	日数													9							8											9														26	
県立衛生看護専門学校第一看護学科	人数		7	7		4	4		9	9												10	10		8	8		10	10																	48	435
	日数		9			10			10													8			9			9																		55	
県立衛生看護専門学校第二看護学科	人数					4	4															5	9	4																						13	104
	日数					8																8	8																							24	
県立衛生看護専門学校第二看護学科依存症見学(火～木・3日間)	人数		4					4	5													4		5			4	5																		31	93
	日数		3					3	3													3		3			3	3																		21	
県立よこはま看護専門学校	人数		8	8		10	10						9	9							5	5		5	5					7	7															44	391
	日数		9			9							9								8			9						9																53	
県立保健福祉大学	人数						4	4	4															7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7					1	1					51	424
	日数						12																	8		8		8		8		8		8						8						68	
神奈川歯科大学短期大学部	人数																	4	4	4	4																									8	80
	日数																	10		10																										20	
横浜市立大学	人数																										5	5			5	5														10	70
	日数																										7				7															14	
東京衛生学園	人数																																							2				1		3	6
	日数																																							2				2		4	
東京衛生学園	人数																																							2				2		4	8
	日数																																							2				2		4	
日本医療学園附属東亜看護学院2年課程（通信制）																							2		1																					3	6
																							2		2																					4	
合計人数		0	24	20	0	18	22	8	18	13	4	0	14	19	5	0	0	4	9	9	14	34	26	21	25	20	17	28	18	15	20	23	18	7	7	0	0	9	9	10	5	10	10	10	3	283	2234

病棟名（主な診療科目）		病床数		5月					6月				7月				8月					9月				10月					11月				12月				1月					2月				病棟別年間実習生数	
				2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	6	13	20	27	実数	延べ人数
病棟別実習生配置状況（週別実人数）	救急A(5A)	30	学生配置数		5	5		4	4		4	4			5	5					5	5		5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3			5	5	5	2				1	59	490
	救急B(5B)	40	学生配置数		4	4			2	2	2					5	5						5	5		3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			4	4	4	2				2	47	385
	高度ケア(4A)	40	学生配置数		3	3		4	4		5	5			5	5				4	4	4	4	5	5	5	5		5	5				5	5							1	1	5	5	5		52	461
	思春期(4B)	30	学生配置数					5	5						4	4							5	5			4	4		5	5		5	5														28	237
	地域移行(3A)	40	学生配置数		4	4			2	2	2											5	5	4		4	4	4		5	5	4	4	5	5									5	5	5		38	350
	身体ケア(2A)	35	学生配置数		4	4		5	5			4	4										5	5			4	4				3	3															25	216
	依存症(2B)	45	学生配置数		4					4	5												4	2		5	1		4	5																		34	99
実習生数	実人数（人）		合計実人数／週	0	24	20	0	18	22	8	18	13	4	0	14	19	5	0	0	4	9	9	14	34	26	21	25	20	17	28	18	15	20	23	18	7	7	0	0	9	9	10	5	10	10	10	3	283	
	延べ人数（人）		延べ人数／週間	0	107	88	0	86	98	28	76	52	16	0	56	90	20	0	0	20	40	40	70	102	115	84	98	84	64	102	82	67	80	97	72	28	28	0	0	36	36	36	10	40	40	40	6		
			延べ人数／月間	281					254				162				80					327				432					326				128				118					126					2234

⑵　作業療法（OT）

当院の作業療法は、日常生活の回復を図り社会適応や自律を促すために様々なプログラムを実施している。作業療法科では安心していられる居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

・ADLおよびAPDL訓練を中心とした活動
・コミュニケーションおよび自己表現力を高める活動
・体力の維持・向上を目的とした活動
・協働作業を中心とした活動　　・生産的作業を中心とした活動
・レクリエーション活動　　・面談および相談

である。

作業療法科では、各病棟作業療法と療法エリアでの作業療法のプログラム実施に加え、集団プログラムへの参加が困難な方や､生活評価･訓練や身体機能評価･訓練が必要な方に対しての個別の関わりを行っている。昨年度に始めた『レッツトライ！』と『スキルアップセミナー』は、内容を変化させながら引き続き実施し、参加延べ人数は、105人、34人とそれぞれ増加している。

『グループワークB』は56人減少しており、グループ活動が可能な患者の減少から今年度で終了している。

また今年度は、作業療法士養成校の1年生の見学実習生を15名と３年生の臨床実習１名を、新たに受け入れている。

Ｆ病棟では昨年度同様に他職種と連携して、治療プログラムの運営、カンファレンスを定期的に行っている。身体機能に関しては、転倒や転落のリスクや嚥下障害を有する対象者に対して機能評価および訓練、環境調整に関するアドバイスといったケアも行っている。また、今年度は当院の通院医療へ移行した対象者に対して訪問看護に同行し、生活指導や症状管理のサポートを行った。

なお、管理料に含まれているため４B病棟（思春期病棟）およびＦ病棟では精神科作業療法を算定していないが、参考値として以下のデータには組み込んでいる。

㈠　患者受け入れ状況

a　OT実施人員

（単位：人）

区分／年度	実人員					
	新規		継続		計	
	男	女	男	女	男	女
28	595		194		789	
	301	294	115	79	416	373
27	581		169		750	
	294	287	112	57	406	344
対前年度比（%）	102.4		114.8		105.2	
	102.4	102.4	102.7	138.6	102.5	108.4

b　患者別受け入れ状況

区分／年度	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	F2 統合失調症	F3 気分（感情）障害	F4 神経症性障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格および行動の障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発達の障害	F9 特定不能の精神障害	G4 てんかん	計
28	13	246	288	142	59	3	15	10	7	5	1	789
27	9	243	255	151	53	4	10	12	7	6	0	750
対前年度比（%）	144.4	101.2	112.9	94.0	111.3	75.0	150.0	83.3	100.0	83.3	－	105.2

c　年齢別受け入れ状況

区分／年度	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
28	48	92	126	186	184	153	789	45.9
27	59	80	124	175	178	134	750	45.0
対前年度比（%）	81.4	115.0	101.6	106.3	103.4	114.2	105.2	

⑷　転　帰

区分／年度	継続	終了												中断	計
		就労・復職	就職活動・就職	作業所	自助グループ	デイ・ケア	生活教室・保健所	家庭復帰	施設	アパート・単身	転院	グループホーム・援護寮	その他		
28	187	12	0	11	51	62	0	298	42	44	52	12	13	5	789
27	282	41	3	11	62	53	0	150	36	44	44	11	7	6	750
対前年度比（%）	66.3	29.3	0.0	100.0	82.3	117.0	－	198.7	116.7	100.0	118.2	109.1	185.7	83.3	105.2

⑺　プログラムの内容および実施状況

プログラム名	参加延人員（人）	（参考）前年度	内　　容
フリースペースB	829	698	ネット手芸、刺繍、編み物、認知機能トレーニングなど机上作業中心。
フリースペースA	677	614	種目はフリースペースBと同様であるが、より援助が必要な対象者が参加。
グループワークB	317	373	参加者の話し合いに基づきグループ活動（カラオケ、音楽鑑賞、ゲーム大会など）を行うほか、１年に３つ行事（七夕会、文化祭など）を企画・準備・運営する。
LiST	260	124	掃除、ゴミの分別、マナー、身だしなみなどの生活技能の学習と実技。
スポーツ	353	182	体育館やグラウンドで軽スポーツを行うグループ活動。
園芸	290	166	花や野菜類の栽培を実施。屋外で行うグループ活動。
のんびりスペース	280	270	病棟から出て落ち着いた時間を他者と共有することを目的としたプログラム。
レッツ　トライ！	287	182	１ヶ月に１つのテーマ（太極拳、パソコン、書道など）を取り上げ、作業体験する。
２Ａ　病棟OT	1,294	983	軽体操と認知トレーニング、レクリエーション、季節行事などを行う。週２回実施。
２Ｂ　病棟OT	1,956	1,673	『ボディメンテ』、『ワークタイム』、『すますプログラム』を各1回、週３回実施。
３Ａ　病棟OT	1,635	1,626	軽体操と認知トレーニングを中心に、他レクリエーションなどを行う。週２回実施。
３Ｂ　病棟OT	1,111	1,061	『アート』（作品作り）、『エクササイズ』、『リラクセーション』を各１回、週３回実施。対象者がいる場合は『のびのび体操』（高齢者向け軽体操）を実施。

プログラム名	参加延人員（人）	（参考）前年度	内　　容
４Ａ　病棟OT	705	748	作品作りと認知トレーニング、音楽鑑賞、軽体操などを行う。週１回実施。
４Ｂ　病棟OT	477	513	個人作品作りとグループ活動を各１回、週２回実施。
５Ａ　病棟OT	482	485	『めざましプログラム』、『リラクセーション』、『からだづくり』を各1回、週3回実施。
５Ｂ　病棟OT	565	485	『リラクセーション』、『からだづくり』を各１回、週２回実施。
個別OT	109	57	対象者に合わせて体操や作品作り、認知機能トレーニングなどを実施。
特別プログラム	165	157	カラオケ、音楽鑑賞、映画鑑賞、お菓子作り、作品作りなどを実施。全病棟を参加対象としたプログラムで月1回実施。
パワーアップセミナー	45	31	疾患、服薬、感染、コミュニケーションなどのテーマを専門職種を講師として招き学習する。年に３回程度実施。
スキルアップセミナー	46	12	少人数で行う統合失調症に関する疾患教育。５Ａ・５B病棟にて４回実施。
面接	126	124	インテークや情報収集、再評価等の面接を実施。
デイケア体験	2	3	退院後デイケアへ通所する予定の対象者に対し、プログラム体験時に作業療法士が付き添う。
計	12,011	10,567	
医療観察法病棟	3,139	2,533	『ものづくり』『ガーデニング』『からだづくり』『音楽プログラム』を週１回、『シャッキリ!! 脳力トレーニング』を週２回実施。他にIADLや創作などの個別OTや多職種での目的別プログラムを実施。

㈾　教育（見学・実習）

a　見学・研修受入れ

年度	区分	医療関係者	学生（医師･看護師・PSW）	院内 職員	院内 患者	その他	計
28	件数	3	70	2	5	4	84
	人員	6	134	2	7	51	200
27	件数	5	92	1	1	2	101
	人員	22	174	1	1	5	203
対前年度比（%）	件数	60	76.1	200.0	500.0	200.0	83.2
	人員	27.3	77.0	200.0	700.0	1,020.0	98.5

b　実習生の受け入れ

内　　容	対　　象	実　施　日	人　数
作業療法　臨床実習Ⅲ	帝京平成大学　健康メディカル部　作業療法科３年	平成28年６月13日～８月５日	1
作業療法　臨床見学実習	神奈川県立保健福祉大学　リハビリテーション学科作業療法学専攻　１年	平成28年９月14日～９月15日	4
作業療法　地域体験実習	東京工学大学　作業療法学科　１年	平成28年10月14日、11月４日、11月18日、12月２日	15

⑶　デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年６月から試行し、昭和61年４月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週５日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど心理教育的プログラムを中心に、茶道・華道など外部講師によるプログラムも取り入れ、利用者の要望に応えられるように多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、３時間程度のショート・ケアが新設された。当院デイ・ケアでも８月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

平成26年12月の新棟開棟に伴う外来リハビリテーションの再構築のため、プログラムを再編成し、平成26年１月から外来作業療法患者のデイ・ケア移行を進めてきた。

新棟開棟直後の12月より依存症デイ・ケア（SMARPP、SARPP）を開始し、平成27年10月からmini scopを各々週１日実施している。運営に当たっては、SMARPPをデイケア科が、SARPPを福祉医療相談科が、mini scopを外来看護師と心理科が主体となって行っている。

また平成27年１月からリワークのデイ･ケアを週4日から開始し､翌年６月には週５日に増やした。運営に当たっては、心理科・福祉医療相談科の協力を得ながら実施している。必要に応じて、職場との面接や就労定着支援を行っている。

訪問支援の実施としては、地域活動支援センター・生活訓練施設・就労移行支援事業所などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。

また退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っており、平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者も受け入れている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ･ケア連絡会の事務局補佐として、県内デイ･ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

ア　精神科デイ・ケア

㈠　月別参加者数

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（右：月平均）	
在籍者数		191	193	201	212	195	201	206	209	212	207	206	214	2,447	204
（うち入院）		8	7	7	5	12	8	5	9	7	6	7	7	88	7
（うち医療観察者法通院者）		5	5	3	4	4	6	5	6	6	6	6	7	63	5
延数	参加者延数	982	948	1,086	1,000	1,089	1,073	1,123	1,079	1,045	1,022	1,106	1,235	12,788	1,066
	（うち入院）	5	8	1	14	23	0	6	6	3	14	9	10	99	8
	（医療観察者法通院者）	26	32	29	30	19	28	29	33	33	37	41	49	386	32
	ショート延数	721	687	769	662	778	760	814	795	758	740	810	882	9,176	765
	（うち入院）	5	2	1	14	23	0	6	6	3	14	9	24	107	9
平均	参加者一日平均	49	49	49	49	48	54	56	54	55	53	55	56	627	52
	（うちショート）	36	36	35	33	35	38	40	39	40	39	40	40	451	38
実施日数		20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243	20

㈡　地域別参加者数

地域別 ＼ 年度	横浜市																		横須賀市	鎌倉市	川崎市	相模原市	藤沢市	その他	合計
	鶴見区	西区	中区	南区	港南区	保土ケ谷区	旭区	磯子区	港北区	戸塚区	栄区	泉区	神奈川区	緑区	金沢区	都筑区	青葉区	小計							
平成28年度	6	5	10	33	53	14	7	28	5	32	6	7	7	3	9	0	2	227	4	2	1	0	3	6	243
平成27年度	3	2	7	41	46	9	2	21	4	28	5	3	6	2	8	0	2	189	3	2	2	1	3	4	204

㈢　年齢・病名別参加者数

病名 ＼ 年齢 性別	19歳以下			20～29歳以下			30～39歳以下			40～49歳以下			50歳以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害（F1）			0	1	2	3	4	2	6	8	3	11	2	3	5	15	10	25
統合失調症（F2）	3	3	6	23	18	41	28	5	33	31	26	57	15	10	25	100	62	162
気分（感情）障害（F3）			0	4	3	7	2	4	6	5	3	8	4	2	6	15	12	27
神経症性障害（F4）	2		2	1	2	3		2	2	2		2	1		1	6	4	10
人格及び行動障害（F6）			0		2	2			0			0		1	1	0	3	3
精神遅滞（F7）			0	1	2	3		2	2	2		2	1		1	4	4	8
その他		1	1			0	1		1	2	3	5		1	1	3	5	8
計	5	4	9	30	29	59	35	15	50	50	35	85	23	17	40	143	100	243

㈡ プログラム統計

プログラム		小計	内容・目的
集団精神療法	全体ミーティング	15	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(忘年会委員会)	11	行事ごとに委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小　計	26	
職業前訓練	作　業	100	外部からの請負作業(やまゆり発送など) を通して、就労･作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	12	分担された係を体験していく中で就労･作業所などへの心構えや責任感を養っていく。
	社会復帰プラン	36	就労もしくは作業所などを目指すために準備性を高める。
	小　計	148	
創作活動	創　作	33	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	ものつくりサークル	12	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	小　計	45	
日常生活指導	料　理・料理の買い物	21	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	生活クラブ	31	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小　計	52	
クラブ活動	グループ活動	6	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	106	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行なう
	小　計	112	
運動療法	スポーツ	36	チームプレーを通して協調性を養う､体力作り､身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、自己の身体への意識を高める。
	小　計	38	
音楽療法	コーラス	20	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	2	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	小　計	22	
認知行動療法・心理教育他	健康・栄養講座（健診含む）	10	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講議を受ける。
	SST	40	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	20	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	22	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ
	統合失調療法	24	統合失調症の症状や対処法などの知識を身に付ける。
	認知行動療法	34	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育
	福祉講座	4	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	WRAP	19	自分が元気でいるための計画を立て、それを実践していく。
	ダイエット	22	肥満の健康上の問題を認識し､ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	小　計	195	
レクリエーション活動	パーティー､打上げ(含む、準備)	14	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出（含む、準備）	6	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	バザー、DCコンサート･港南ネット祭り･デイケア作品展(含む、準備)	21	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	かき氷大会･すいか割り(含む準備)	6	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	施設見学（含む準備）	3	地域の通所施設等を見学し、デイケア退所後の通所先のイメージをもつ。
	小　計	50	
その他	パソコン	45	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	書　道	12	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶　道	8	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華　道	9	外部講師の指導により、お花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエンテーション	4	新入所者に対し、メンバーがデイケアの説明を行う。
	アロマテラピー	1	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	20	花や野菜などの植物を育てることで季節を得ながら、達成感を得る。
	メークアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	10	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	英会話	11	外部講師の指導により、英会話について学ぶ。
	スモールグループ	145	大人数のプログラムが苦手な方が、小人数で落ち着いた環境で課題に取り組むことを目的とする。
	個別活動	24	自身の疾患について理解を深めるために個々で学習する。
	小　計	290	
合　計		978	

イ　リワークデイ・ケア

㈠　月別参加者数

（単位：人）

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数	15	14	13	14	12	10	11	12	11	12	12	15	151	13
参加者延数	179	138	166	125	173	154	195	189	209	194	219	219	2,160	180
参加者一日平均	11	9	9	6	8	8	10	9	11	10	11	10	113	9
実施回数	16	15	18	20	22	20	20	20	19	19	20	22	231	19

㈡　疾患別参加者数

（単位：人）

病　名	人　数
うつ病	16
反復性うつ病性障害	7
双極性感情障害	5
持続性気分障害	2
適応障害	6
その他	6
計	42

㈢　転帰

（単位：人）

転　帰	人　数
復職	23
転職	3
再就職	0
求職	4
中断	3
その他	7
計	40

ウ　依存症デイ・ケア

㈠　SMARPP

（単位：人）

月　別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		8	10	11	12	14	13	14	14	13	14	9	10	142	11.8
（うち医療観察者法通院者）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
延数	参加者延数	19	23	23	26	37	29	32	34	26	29	28	31	337	28.1
	（うち医療観察者法通院者）	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50	4.2
平均	参加者一日平均	4.8	5.8	5.8	6.5	7.4	7.3	8.0	6.8	6.5	7.3	7.0	7.8	81	6.7
実施日数		4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50	4.2

㈠ SARPP

（単位：人）

月　別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		9	10	20	24	18	14	18	18	18	10	12	14	185	15.4
（うち医療観察者法通院者）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
延数	参加者延数	12	8	31	34	28	31	24	20	27	20	21	30	286	23.8
	（うち医療観察者法通院者）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均	参加者一日平均	3.0	2.7	6.2	8.5	9.3	10.3	6.0	6.7	6.8	5.0	5.3	7.5	77	6.4
実施日数		4	3	5	4	3	3	4	3	4	4	4	4	45	3.8

㈡ mini-scop

月　別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	（右：月平均）
在籍者数		－	7	7	7	－	－	6	6	6	6	6	6	57	6.3
（うち医療観察者法通院者）		－	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	0	0	0.0
延数	参加者延数	－	18	23	40	－	－	24	20	11	11	14	26	187	20.8
	（うち医療観察者法通院者）	－	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均	参加者一日平均	－	6.0	5.8	8.0	－	－	4.8	5.0	2.8	2.8	4.7	5.2	45	5.0
実施日数		－	3	4	5	－	－	5	4	4	4	3	5	37	4.1

エ　教　　育

（単位：人）

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	その他	合　計
研　修	47	15	5	0	67
見　学	99	34	15	40	188

オ　転　　帰

（単位：人）H29. 3. 31現在

転帰／性別	就労	就労移行支援	就労継続支援	支援センター等	就学	家庭内適応	転院等	入院	不適応	死亡	中断	その他	DC延長	6ヶ月未満	計
男	10	1	1	4	0	0	3	1	0	3	14	2	80	24	143
女	1	2	2	5	1	1	1	1	0	1	11	2	53	19	100
計	11	3	3	9	1	1	4	2	0	4	25	4	133	43	243

カ　個別支援

a　相談件数

（単位：人）

手　段	本　人	家　族	退所者	その他関係機関
電　話	150	35	7	192
面　接	994	59	6	132
見　学	－	－	－	163

b　訪問件数

（単位：人）

職場、福祉施設など	6

c　カンファレンス（医療観察法含む）

科　内	科　外
2,561	121

キ　家族会

開　催　月	テ　ー　マ	開催数	参加者数
５－７月	家族面談	２回	30名
８月	デイケアコンサート	１回	4名
10－11月	家族面談	２回	30名
11月	福祉講座「就労準備について」	１回	1名
２月	福祉講座「就労準備について」	１回	8名
合　　計		７回	73名

⑷　検査業務

ア　心理業務

コメディカル部心理科には常勤７名、非常勤２名、計９名の心理士が在籍しており、うち常勤２名は医療観察法病棟、常勤１名は思春期病棟に専従で配属、非常勤１名はrTMS研究補助を担当、常勤1名非常勤１名計２名は依存症病棟に配属されている。外来及びその他の病棟には窓口として担当心理士がそれぞれ配属されている。

主な業務は心理検査、心理療法（集団精神療法、個別面接等）、医療観察法業務である。心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補う目的や、パーソナリティの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施した。心理療法は外来ならびに入院患者を対象とし、一対一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的ケアを提供するものである。主治医から依頼のあった患者に対し、アセスメント（心理検査・アセスメント面接等）に基づいて契約を結び、必要に応じて主治医との連携をとりつつ継続的な関わりを持った。診断は統合失調症、うつ状態、人格障害などであった。集団療法は、多職種と協力し、病棟にて疾病教育や座談会等を中心に実施した。

専門病棟については以下の通りである。

依存症病棟では、木曜会、せりがや講座（心理担当分）のプログラムを担当した。また必要時に主治医の判断によって心理検査を導入した。さらに依存症部門で実施しているプログラム等に関して、研修や研究を行った（下記平成28年度研究・研修実績参照）。

ストレスケア病棟では、心理検査ならびに心理面接、心理療法（看護スタッフが行うCBTプログラム、SSTプログラムの補助）を行った。また病棟におけるカンファレンスにも参加し、協働を図った。他に、臨床研究（rTMS、鍼灸）入院において、神経心理学的な心理検査を実施した。

思春期病棟では、他職種と協力しながら各種プログラムを企画運営し、必要時に心理検査等を実施した他、病棟カンファレンス等にも参加した。

医療観察法病棟においては、各種プログラムの企画運営、心理検査・心理面接の実施、対象者の外出・外泊への付き添い、MDT会議、CPA会議、治療評価会議等多職種チームの会議等に参加した。

外来においては、依存症プログラムSCOP及びリワークプログラムを他職種とともに実施。SCOPでは導入前後の心理検査及びプログラムの運営を、リワークプログラムでは多職種で運営についての検討を重ね、協力してプログラム・各種面接を実施した。リワークプログラムにおいては認知行動療法（集団精神療法）、テーマトークを担当し、必要に応じて心理検査等を行った。医療観察法通院処遇対象者に対しては、治療評価会議、チーム会議、ケア会議に参加した他、必要に応じて個別面接を行った。

その他、院内外において以下のような研究・研修を担当した。

社会福祉法人かながわ共同会津久井やまゆり園では、平成28年８月より精神保健福祉センターと協力し、こころのケ

アチームとして当院医師と共に同施設職員の相談にあたった。さらに社会福祉法人かながわ共同会津久井やまゆり園からの要請により、同施設職員を対象に精神衛生に関わる研修会（ストレス・マネジメント講座）を実施し、ストレス対処法についての講義及びリラックス法の実践を行った。

平成28年度研究・研修実績

・「依存症専門病棟における活動集団療法（通称木曜会）の試み」（第51回日本アルコール･アディクション医学会総会）
・「依存症専門外来における外来SCOPの取り組みについて（質問紙による効果測定）」（第51回日本アルコール・アディクション医学会総会）
・「ストレス・マネジメント講座」（社会福祉法人かながわ共同会津久井やまゆり園）
・「平成28年度横浜市精神保健福祉業務研修」
・「平成28年度医療観察法指定通院医療機関従事者研修会」
・院内研修　「依存症セミナー」
・院内研修　「明日から使える患者さんのセルフコントロールの高め方」

㈠　心理検査（平成28年度）

検　査　名		外来（リワーク含）	入院（医観法含）	臨床研究（rTMS･鍼灸）	計
知能検査	WAIS-Ⅲ	79	185	9	273
	WISC-Ⅳ	13	17	0	30
	田中ビネー	2	0	0	2
	コース立方体	0	0	0	0
人格検査	ロールシャッハ人格診断検査	62	113	0	175
	SCT文章完成法	71	130	0	201
	描画検査（バウムテスト等）	61	143	0	204
	P-Fスタディ	52	102	0	154
	Y-G	3	19	0	22
	その他の人格検査	3	17	0	20
その他の心理検査	ベンダーゲシュタルトテスト	0	0	0	0
	内田クレペリン検査	0	0	0	0
	MMSE、HDS-R	50	120	0	170
	COGNISTAT	7	16	0	23
	WMS-R	0	0	0	0
	HAM-D	0	0	149	149
	BDI	0	0	183	183
	STAI	0	0	182	183
	SCID	0	0	9	9
	AQ	0	0	9	9
	CES-D	0	249	0	249
	Word　Fluency	0	0	33	33
	WSCT	0	0	24	24
	TMT	0	0	24	24
	Color Strope	0	0	24	24
	その他	10	0	341	351
計 （実人数）		413 131	1,111 279	988 46	2,512 456

㈡　心理療法（平成28年度）

	外来（リワーク除）	入　院	リワーク	依存症	思春期	医療観察法病棟
心理面接等	596（32）	100（9）	－	－	－	324（14）
集団プログラム等	0	129	90	49	89	141

※計欄（　）は実人数を示す。
※外来移行後分含む。

㈢　その他（平成28年度）

リワーク・プログラム　DCとの合同のプログラムの実施	90
リワーク・プログラム　インテーク・復職準備評価面接の実施	28
医療観察法（入院病棟）多職種チーム会議への参加	372
医療観察法（通院処遇）多職種チーム会議への参加	36
医療観察法（通院処遇）ケア会議への参加	23

イ　放射線業務

一般撮影は、対前年度比108%とやや増加傾向にあります。

CT撮影は、頭部件数の増加のほか、肺炎、結核や虫垂炎等のフォローアップ撮影が増加し、胸部・腹部の件数が増加したため、対前年度比114%としました。

PDI（Portable Data for Imaging、医用画像情報を含んだ可搬型媒体）は、Export業務は平年並みでしたが、Inport業務が増加しました。今後、Inport業務は増加すると予想されます。

㈠　一般撮影業務件数（人数及び撮影回数）

部位	頭部				胸部				腹部				椎骨				四肢骨				その他				合計			
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数	
月	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室	ポータブル	撮影室
H28.4		2		2	3	84	3	99	1	83	1	113						3		6					4	172	4	220
5		2		2	12	122	12	145	8	108	8	137		1		2		4		10		1		3	20	238	20	299
6		4		4	10	97	10	120	4	108	4	145					1	5	4	18					15	214	18	287
7		5		5	6	81	6	91	3	88	3	109		2		4		2		6		2		5	9	180	9	220
8		2		2	10	107	10	131	8	100	8	132						5		14		1		1	18	215	18	280
9		1		1	11	100	11	124	5	96	5	122						2		6					16	199	16	253
10		1		1	16	98	16	116	8	93	8	123						2		4		1		2	24	195	24	246
11		4		5	9	91	10	104	4	90	4	110						2		10		1		2	13	188	14	231
12		3		4	7	91	7	103	4	89	4	115		1		2	1	5	2	21		1		1	12	190	13	246
H29.1		3		4	6	86	6	98	4	84	4	111					1	7	4	24		3		6	11	183	14	243
2		4		4	6	95	6	106	1	94	1	119						7		17		1		2	7	201	7	248
3		2		2	13	102	16	117	7	96	7	126		1		2	1	4	2	11		6		12	21	211	25	270
合計	0	33	0	36	109	1,154	113	1,354	57	1,129	57	1,462	0	5	0	10	4	48	12	147	0	17	0	34	170	2,386	182	3,043
構成比(%)	0.0	1.3	0.0	1.1	4.3	45.1	3.5	42.0	2.2	44.2	1.8	45.3	0.0	0.2	0.0	0.3	0.2	1.9	0.4	4.6	0.0	0.7	0.0	1.1	6.7	93.3	5.6	94.4

㈡　CT検査業務件数

部位 / 月	頭部	胸部	腹部	椎骨	四肢骨	その他	合計
H28. 4	83	7	2			1	93
5	95	4	4				103
6	86	13	12				111
7	91	9	8		1	1	110
8	98	9	7		1		115
9	97	5	4		1		107
10	102	7	5				114
11	84	4	5		1		94
12	82	1	2		1	1	87
H29. 1	100	4	5				109
2	92	12	10				114
3	106	13	6		1	2	128
合　計	1,116	88	70	0	6	5	1,285
構成比（%）	86.8	6.8	5.4	0.0	0.5	0.4	100.0

㈠ PDI依頼件数

月＼種別	Export	Inport	合　計
H28. 4	9	1	10
5	6		6
6	9	1	10
7	9	3	12
8	9	3	12
9	6	1	7
10	10	4	14
11	1		1
12	5		5
H29. 1	2		2
2	6	2	8
3	10	4	14
合　計	82	19	101

㈡ 一般撮影業務件数推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	前年度比(%)
延べ人数	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	1,725	1,732	1,806	1,834	2,373	2,556	107.7
延べ回数	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	2,070	2,081	2,204	2,251	2,989	3,225	107.9

㈢ CT検査業務件数推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	前年度比(%)
延べ人数	999	809	937	968	886	942	975	964	958	1,131	1,285	113.6

㈣ PDI依頼件数推移

	27年度	28年度	前年度比(%)
Export	77	82	106.5
Inport	6	19	316.7

ウ　臨床検査業務

	院内処理件数		委託処理件数		合　計	
	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度
一般検査	20,035	17,063	56	133	20,091	17,196
血液検査	13,972	10,473	21,895	21,456	35,867	31,929
生化学的検査	26,008	21,265	77,849	74,513	103,857	95,778
内分泌学的検査	0	0	3,487	2,979	3,487	2,979
免疫学的検査	407	431	5,523	5,328	5,930	5,759
病理学的検査	0	0	1	3	1	3
微生物学的検査	0	0	248	290	248	290
生理機能検査	1,695	1,530	0	0	1,695	1,530
計	62,117	50,762	109,059	104,702	171,176	155,464

(5) 福祉医療相談科業務

福祉医療相談科は、ソーシャルワーカー13名（常勤12、非常勤１病棟担当制）事務担当１名の計14名で構成されている。主にご本人・ご家族や地域関係機関等からの受診・入院相談窓口としての機能と退院支援やケースワーク、退院後の治療継続や地域生活に関わる各種相談、経済的問題、福祉制度・サービスの案内等々に対応し、ご本人ご家族との信頼関係の継続や地域連携を重視して相談業務に取り組んでいる。

平成26年４月の精神保健福祉法の一部改正により、医療保護入院者の退院支援の役割を果たすために、退院後生活環境相談員として入院の時点からご本人及びご家族に対し、相談支援を行い、医療保護入院継続の妥当性を図るための「医療保護入院者退院支援委員会」を平成28年度は92件開催した。

救急医療については平成15年度に26床の救急病棟として整備され、現在は70床のうち16床が神奈川県の基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組みを進めてきたが、新病院となり地域連携室をはじめ多職種連携で更なる取組みを始めている。

平成17年度から施行された医療観察法の指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療を開始して平成21年度に小規格病棟から開始して平成24年度からフル規格病棟での入院医療を受け入れている。医療観察法病棟には３名のソーシャルワーカーを配置して対応している。（エで再掲）。

平成20年４月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟を開棟した。病棟担当者はリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして参加している。

依存症担当者は入院、外来患者への対応と共に、依存症ショートケアで行っているSARPPプログラムや感情を扱うSCOP、薬物、アルコール家族会のファシリテーターを担当している。

思春期病棟は新病院と共に新たに開棟し、担当者は受診・入院相談、家族相談への対応や児童相談所や教育機関など地域関係機関等との連携構築を行っている。今年度は同じ県立のこども医療センターとの連絡会を開催するなど連携を密にした。

地域支援については、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加をしている。依存症分野では回復施設の運営協議会に参加している。

平成26年度より当センターが依存症治療拠点機関に指定され、依存症治療支援コーディネーターの役割を担うと同時に、多職種と研修会や普及啓発活動の企画等行っている。

また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催、および全国医療観察法指定入院医療機関PSW連絡協議会に参加して連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

その他、メディエーター活動や、かながわDPATチームとして熊本県等震災支援に参加するなど、ソーシャルワーカーの担う役割は更に広がってきている。

ア　ソーシャルワーク業務（平成28年４月～平成29年３月）

㈠　内容別相談件数

内　　容	平　成　28　年　度				平成27年度計
	外　来	入　院	受診相談	計	
受診相談	758	295	2,284	3,337	2,754
入院援助	693	2,475	1,422	4,590	2455
退院援助	123	5,034	12	5,169	4,432
心理的情緒的援助	823	1,102	12	1,937	2,273
経済問題援助	268	1,628	10	1,906	2,348
福祉制度利用援助	1,131	4,128	94	5,353	4,406
家族問題援助	288	897	32	1,217	1,792
住宅問題援助	116	599	2	717	908
就労問題援助	138	133	77	348	460
教育問題援助	40	269	11	320	191
権利擁護	15	561	3	579	351
退院請求・処遇改善請求	10	351	0	361	248
他医療機関との調整	639	912	292	1,843	1,665
依存症	2,058	1,823	533	4,414	2,776
医療観察	382	2,835	19	3,236	2,073
ストレス	263	173	537	973	855
思春期	312	1,207	583	2,102	822
その他	1,067	1,578	168	2,813	1,827
計	9,124	26,000	6,091	41,215	32,636

㈡　実施方法別相談件数

内　　容	平　成　28　年　度				平成27年度計
	外　来	入　院	受診相談	計	
面接	1,479	9,303	161	10,943	9,509
電話	5,905	13,667	5,732	25,304	19,206
外出	29	374	3	406	400
訪問	35	41	0	76	68
ケア会議	307	999	13	1,319	1,385
グループワーク	1,020	86	0	1,106	837
書類	173	600	74	847	622
その他	176	930	108	1,214	609
計	9,124	26,000	6,091	41,215	32,636

イ　地域連絡会議

県立病院地域医療連携連絡会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
第１回県立病院地域医療連携担当者会議	県立足柄上病院	平成28年５月27日
第２回県立病院地域医療連携担当者会議	県立精神医療センター	平成28年９月30日
第３回県立病院地域医療連携担当者会議	県立循環器呼吸器病センター	平成28年11月25日
第１回県立病院地域医療連携連絡会議	県立がんセンター	平成29年２月10日

県立病院機構メディエーター連絡協議会

会　議　名	場　　所	実　施　日
県立病院メディエーター連絡協議会	機構本部等	１回／月

精神保健福祉担当者会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
精神保健福祉業務連絡会	港南区役所	平成28年８月24日

港南区地域生活支援会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
平成28年度第２回港南区自立支援協議会	港南中央地域ケアプラザ	平成28年10月20日
平成28年度の自立支援協議会全体会	港南区役所	平成29年３月10日

港南ネット会議

会　議　名	場　　所	実　施　日
平成28年度　第１回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成28年５月13日
第２回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成28年７月８日
第５回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成29年１月13日

子どものこころの診察ネットワーク事業

会　議　名	場　　所	実　施　日
第５回神奈川県地域児童青年期精神科入院医療の連携を考える会	ウィリング横浜	平成29年２月11日

ウ　協議会、見学会、研修受け入れ、講師派遣等

協議会等

内　　容	場　　所	参　加　日
精神科特別部会コメディカル部会 第11回関東ブロックコメディカル会議	剛堂会館	平成28年９月30日
精神科特別部会コメディカル部会 第11回関東ブロックコメディカル会議	東京都立松沢病院	平成29年２月24日
藤沢地区薬物乱用防止推進地域連絡会	藤沢市保健所	平成28年７月５日
第１回神奈川県依存症対策推進協議会	機構本部研修室	平成28年７月22日
第２回神奈川県依存症対策推進協議会	機構本部研修室	平成29年３月23日
薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会	横浜保護観察所	平成29年１月25日

見学会・意見交換会

内　　容	場　　所	参　加　日
横浜地方裁判所裁判官医療観察法病棟見学会及び意見交換会	神奈川県立精神医療センター	平成28年７月８日

実習受入れ

依　　頼　　校	人　　数	実　　施　　日
日本福祉大学	１名	平成28年９月５日～９月23日
神奈川県立保健福祉大学	１名	平成28年９月５日～９月27日
桜美林大学	１名	平成29年２月６日～２月23日

現任者の視察・研修受入れ

内　　容	人　数	実　　施　　日
横浜市港南区笹下地区民生委員協議会見学	25名	平成28年６月９日
横浜市新任・新採用医療ソーシャルワーカー等研修	17名	平成28年７月１日
横浜市こころの健康相談センター薬物依存症家会見学	１名	平成28年７月25日
神奈川県精神保健福祉新任研修	10名	平成28年７月28日
社会復帰調整官実務実習	２名	平成28年９月27日～９月30日
横浜市こころの健康相談センター薬物プログラム見学	６名	平成28年６月29日 同　７月６日、７月13日
県立学校保健会横須賀三浦地区支部思春期病棟見学研修	20名	平成28年11月28日
横浜保護観察所及び南区・港南区保護司会合同見学会	16名	平成29年１月20日
栃木刑務所依存症プログラム見学	３名	平成29年２月２日
横浜市中央児童相談所一時保護係自立支援部門（かがやき）思春期病棟見学研修	５名	平成29年２月20日

講師派遣

内　　容	場　　所	実 施 日
覚せい剤事犯者処遇プログラム	横浜保護観察所	平成28年５月23日、７月20日 平成29年１月30日
薬物依存症家族教室	横浜市こころの健康相談センター	平成28年６月10日
薬物依存対象者の引受人等会	横浜保護観察所	平成28年７月27日、12月12日
精神科特別部会コメディカル部会理事会	ホテルブエナビスタ	平成28年８月24日～８月26日
上智大学特別講座	上智大学	平成29年１月５日
平成28年度精神保健福祉業務研修（横浜市）	横浜市研修センター	平成29年１月18日、１月24日
医療観察法指定通院医療機関従事者研修	国立病院機構本部	平成29年１月31日
神奈川県内指定通院医療機関実務担当者研修会	当センター	平成29年２月17日
医療観察法における地域処遇に関する説明会	関東信越厚生局	平成29年３月15日
川崎市多摩区PTA連絡協議会	川崎市多摩区役所	平成28年12月５日

薬物乱用防止教室講師派遣

学　校・団　体	人　　数	実　施　日
海老名市立有馬中学校	211名	平成28年６月24日
横浜市立浦島ヶ丘中学校	209名	平成28年７月15日
相模原市大野小学校	118名	平成29年１月23日

エ　医療観察制度の取組み

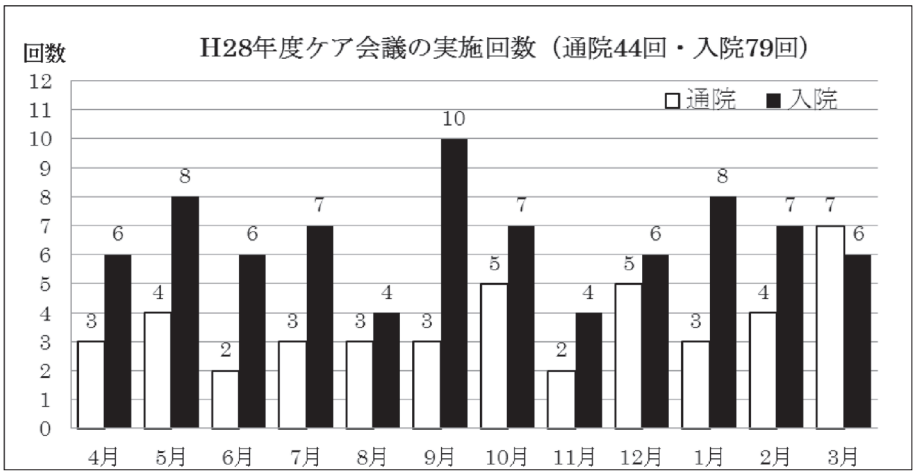
H17年７月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴なう入院及び通院医療）を行なうとされている。当院では鑑定入院ならびに医療観察法病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれ多職種チーム（MDT）を編成して提供している。入院医療では週に１回の治療評価会議と通宜開催のMDT会議をベースに、通院医療では月に１回のMDT会議をベースにして、３ヶ月に１回程度のケア会議の中で処遇方針を協議して実施している医療観察法運営会議を月に１回開催している。福祉医療相談科に統括の医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。入院病棟においては３名の担当者を配置しMDTメンバーとして関わっている。H22年度からは事務担当が１名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール管理など、マネジメント機能が飛躍的に充実強化されている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）、横浜地方裁判所裁判官の医療観察病棟の見学及び意見交換会を実施している。国立病院機構主催の指定医療機関従事者研修の講師も継続して担当している。

平成28年７月１日、７月２日には、第12回医療観察法関連職種研修会をにロイヤルホールヨコハマで当院が事務局となり開催した。今回のテーマは「医療観察法医療をつなぐ活かす伝える」であり、医療観察法の質の向上を目指し、報告会やシンポジウムを企画した。全国の医療機関や保護観察所、地域関係事業所より多数の参加があり、活発な議論が行われた。

対象者数

	H28年度新規対象者数	累計（H17年度より）
鑑定入院	3	40
入院医療	12	73
通院医療	5	53

ケア会議の実施回数



連絡会

内　　容	開催場所	実　施　日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	福井記念病院 相模原市南福祉保健センター 東京保護観察所 横浜保護観察所	平成28年４月15日 平成28年７月15日 平成28年10月13日 平成29年１月20日

講師派遣（再掲）

内　　容	開催場所	実　施　日
医療観察法指定通院医療機関従事者研修	国立病院機構本部	平成29年１月31日
神奈川県内指定通院医療機関実務担当者研修会	当センター	平成29年２月17日
医療観察法における地域処遇に関する説明会	関東信越厚生局	平成29年３月15日

オ　神奈川弁護士会による法律相談会

精神科医療を受ける上で生じる権利擁護やさまざまな法律に関わる問題（借金、家族関係など）について、精神保健福祉士として迅速かつ適切な相談および対応方法の提供を行ってきた。さらにH24年度に開棟した33床からなる医療観察法入院病棟における権利擁護支援の一環として位置づけるために、法律の専門家である弁護士の相談を定期的に開催し密な連携を図っていくことを目的として、H23年度のモデル期間を経て、月に１回（第３木曜日）の横浜弁護士会による法律相談会を継続開催している。その後対象者は救急、ストレス、一般病棟の入院患者にも広げ、PSWが申込み時の面接を行ない窓口弁護士との調整をはかった上で、希望者の人数により２人の弁護士に対応してもらった。当院の取組みについては全国精神医療審議会医療協議会において高く評価を受け、シンポジウムに招聘され報告した。個別相談の他に弁護士の先生による病棟説明会も開始している。

実績

回　数	月　日	利用者数	キャンセル
第１回	4／20	３名	１名
第２回	5／18	０名	２名
第３回	6／15	１名	２名
第４回	7／20	３名	１名
第５回	8／17	１名	０名
第６回	9／21	１名	１名
第７回	10／19	３名	１名
第８回	11／16	１名	０名
第９回	12／21	３名	１名
第10回	1／18	２名	１名
第11回	2／15	１名	３名
第12回	3／15	２名	１名

⑹　訪問看護業務

訪問看護科は、H28年４月、地域医療連携室開設に伴い地域連携部に所属し、外来兼務の看護科長の他、看護師４名が専任で訪問看護に従事している。

交通手段としては４台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。

訪問先は当院近隣の他、金沢区、港北区、旭区、横須賀市、藤沢市、鎌倉市など、医療観察法対象者への訪問も増えたことから、往復50km以上のケースもあり広範囲にわたっている。

訪問看護の役割は、病状の見守り、生活支援と共に病状悪化時の対応、医師及び多職種によるチーム医療判断など対象に応じた多様な関わりとスピーディな対応が求められている。また入院早期より対象者との関係構築に努め、病棟スタッフおよび多職種と協働し、スムーズな地域移行を視野に入れた支援計画を立て実践している。また、地域で健康的な生活が継続できるよう、対象者の思いや意思決定をふまえ地域との連携を大切にし、定期的な支援者との情報共有やカンファレンスなどで、支援の方向性を確認し、ケースごとに多機関、多職種チームの一員として活動し役割を担っている。

訪問看護件数は昨年より100件以上増加し、退院前訪問と合わせて年間延べ2,400件近くなっている。

平均月間利用者数は昨年度120人に対して今年度133人と増え、新規申込み件数は２倍となっている。

セクション別新規申込み件数は外来および５Bの増加が顕著で、急性期を経て退院した対象者の地域移行への課題が反映されている。一方、終了ケースの件数は昨年の２倍以上であり、目標達成および地域移行の件数が増加している。これは対象者の自立支援を促進する関わりや、訪問看護ステーションなど関連施設との連携を強化した結果といえる。

病院の方針として、医療観察法通院処遇患者の増加や困難ケースに特化した方向を示されているため、

新規の利用者に対して、病状が安定するまで頻回に複数で訪問できる体制に整え、病状が安定している利用者に対しては、当院の訪問看護終了または地域移行ができるようにケースごとに関わっている。

１）　平成17年度から平成28年度までの年間訪問看護件数

年　度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
件　数	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966	3,004	2,969	2,592	2,235	2,237	2,352

２）　平成28年度　月別訪問看護件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
訪問件数	201	189	217	203	205	190	186	201	179	183	186	212	2,352
対 象 者	129	127	132	134	137	138	140	135	133	136	137	122	1,600
ＣＦ件数	10	15	15	13	13	18	17	15	6	10	11	7	150

３）　平成28年度　診療報酬別訪問件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	年間件数
訪　問　Ⅰ	189	179	207	193	195	182	178	191	169	173	180	206	2,242
訪　問　Ⅲ	12	10	10	10	10	8	8	10	10	10	6	6	110
退院前訪問	5	1	3	7	3	1	4	7	4	1	3	1	40
合　計	206	190	220	210	208	191	190	208	183	184	189	213	2,392

4） 平成28年度　月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
4	1	5	6	4	3	3	1	2	5	3	3	40

5） 平成28年度　病棟別新規申し込み件数

外来		3B	4A	5A	5B	2A	3A	合　計	
								40	
一般	医観							一般	医観
19	4	1	1	1	7	1	6	36	4

6） 平成28年度　終了ケース

目標達成	施設利用	転院	長期入院	中断・拒絶	死亡	地域移行	合計
12	3	1	0	3	1	22	41

7） 平成28年度　疾患別分類

疾患名	統合失調症（他疾患の合併含む）	中毒性精神障害（薬物・アルコール含む）	躁　鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病（老年期含む）	その他	合　計
件　数	92	3	12	0	3	2	0	0	2	114

8） 平成28年度　地域別分類　（H29. 3月現在）

横浜市

地域	港南区	南　区	磯子区	戸塚区	中　区	泉　区	保土ヶ谷区	栄　区	緑　区	神奈川区
件数	30	25	8	17	1	3	6	4	2	2
地域	金沢区	西　区	港北区	旭　区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合計		
件数	7	1	2	2	0	1	0	111		

県域

地　域	川崎市	横須賀市	逗子市	藤沢市	鎌倉市	合　計
件　数	0	1	0	1	1	3

9） 年齢別区分　（H29. 3月現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合　計
4	4	8	40	33	17	7	1	114

10） 平成28年度　男女・住居別区分

	男性	女性
単身生活	32	20
家族同居	24	29
施設入所（GH含）	5	4
合　計	61	53

⑺　地域医療連携業務

患者・家族が安心して精神科医療を受けられ、また、安心して生活が送れるために地域医療・行政・福祉・病院の連携が重要である。当センターと地域をつなぐ“架け橋”の役割を担うため2016年4月地域医療連携室として開室、準備期間を経て同年9月業務を開始した。スタッフ構成は医師、看護師、精神保健福祉士、事務担当の多職種である。

ア　業務内容

（ア）　他の医療機関からの転院依頼の調整

診療科を問わず他の医療機関からの紹介を受け、m-ECT（修正型電気けいれん療法）、クロザピン治療、急を要さない患者の受診・転院依頼を、ベッドコントローラー、病棟担当等と連携し調整。

（イ）　長期在院患者の社会復帰支援

a　全職員を対象に「長期入院患者退院支援について」アンケート調査を実施。組織全体で取り組むことの必要性、そのためには連携や共働が重要であることを共通認識とするため、アンケートの結果に基づき研究発表を行った。

b　長期入院患者退院促進の問題点や課題の共有を図る事を目的に勉強会を開催。

c　横浜市地域移行・地域定着支援事業と協働し、社会復帰病棟の退院支援プログラムに参加。

（ウ）　見学・研修の受入調整

a　当センター主催の「専門病棟見学会（3回開催）」の広報、受入窓口。

b　見学・研修を希望する関係機関の受入調整及びプログラム構成等。

（エ）　身体合併症発生時の対応

当院では対応困難な事例発生時、病棟スタッフ等と連携・協働し、総合病院、または専門病院への受診・転院調整を行った。

（オ）　普及啓発

地域・関係機関と共催し、地域住民向けに「精神科患者の関わり方講座」を開催。さらに、精神科医療連携研究会では「当センターの長期入院患者退院促進の現状について」をテーマに発表し、精神科患者の理解に繋がるよう啓発活動を行った。

（カ）　地域連携

a　紹介状返書状況を数値化、未返書については担当医師へ発信し返書が100％となるよう協力を求めた。

b　施設見学の企画・実施（更生施設・自立支援施設）

(8) 薬剤業務

調剤業務では、年間処方せん枚数は入院59,013枚で一日平均242.9枚、外来39,586枚（うち院外処方せんは38,041枚、院内処方せんは1,545枚で、発行率は96.1％）で院内処方は一日平均6.4枚である。平成25年10月１日より、外来処方せんは原則院外としたため院外処方せんの発行が増加した。年間調剤数は入院172,630件、外来10,265件、合計182,895件、一日平均調剤数は752.6件であった。

薬剤情報提供業務(外来)は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年６月からは外来患者さん全員を対象に毎回行っている。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月１回のみ算定しており、薬剤情報提供（外来･院内処方）は849件であった。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ183人、指導回数延べ1,081回実施した。

製剤業務では、製剤品目９品目で、そのうち錠剤の散剤化製剤は４品目（4,300錠）調製し調剤業務の効率化を図った。

事故防止推進のため、引き続き調剤手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」は平成26年12月から電子カルテ上のソフト「ファントルくん」に入力することとなり、平成28年度の報告件数は、レベル０が13件、レベル１が４件、レベル２が４件、計21件であった。

薬品管理業務では、購入薬品数は709品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、83.8％、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、16.2％であった。

調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、４回開催した。新規採用医薬品26品目、緊急購入医薬品84品目、削除医薬品42品目、後発品への切替66品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を10回発行した。

入院教育プログラムにおいて、定期的に集団指導を行った。

A　平成28年度調剤数

区　分	処方せん枚数	剤　数	延べ剤数	1日平均	
				剤　数	延べ剤数
入　院	59,013 枚	172,630 件	946,017 剤	710.4 件	3,893.1 剤
外　来	1,545	10,265	175,746	42.2	723.2
計	60,558	182,895	1,121,763	752.6	4,616.3

B　平成28年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未満	500 ml 以上	計
6,462 枚	8,736 本	3,347 本	12,083 本

C　平成28年度製剤数

内服散剤	外用液剤		軟膏剤	錠剤の粉砕
	非滅菌製剤	滅菌製剤		
4,002.7 g	500 ml	0 ml	0 g	4,300 錠

D　平成28年度剤型別薬品購入額

剤　型	品目数	%	購入額	%
注　射	84 品	11.8 %	60,062,968 円	35.3 %
内　服	556	78.4	108,429,460	63.6
外　用	65	9.2	1,857,881	1.1
消毒液	4	0.6	33,166	0.0
計	709	100.0	170,383,475	100.0

E　平成28年度薬効別薬品購入額

薬　効	品目数	%	購入額	%
精神神経用剤	179 品	25.2 %	132,978,175 円	78.0 %
抗てんかん剤	29	4.1	4,640,590	2.7
抗パーキンソン剤	12	1.7	602,486	0.4
睡眠鎮静剤・抗不安剤	58	8.2	4,604,146	2.7
循環器官用薬	64	9.0	1,816,434	1.1
消化器官用薬	68	9.6	7,668,925	4.5
その他の薬剤	299	42.2	18,072,719	10.6
計	709	100.0	170,383,475	100.0

⑼　医療教育

ア　臨床研修医受入状況

管理型病院名＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院								1	1	1	1	
厚木市立病院						1					1	
国際親善総合病院			1	1								
横浜労災病院			1		1	1	1	1	1	1		
汐見台病院				1	1							

平成28年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。（単位：人）

イ　研修受け入れ

対　象	人　数	実施日
横浜市立大学医学部学生	84人	火曜日（見学実習） 概ね３週に一回

⑽　栄養管理業務

栄養管理科では、美味しい、安全、安心な食事提供を日常の業務目標としている。

さらに精神科医療の中で患者の個別性を十分に踏まえた栄養管理の実践および食生活の自立支援に結びつく患者教育・支援を目指している。

NST・栄養管理検討部会においては、低栄養改善、生活習慣病予防のほか誤嚥・窒息予防などを中心に取り組んだ。月例の病棟カンファレンスでは栄養管理上の問題点、課題などの解決に向けた提案をしてきた。結果は項目「イ」に表記した。

平成28年度は入院患者を中心に管理栄養士による患者教育の実施を強化した。栄養管理の質の向上を目的として電子カルテ、部門システムの運用の見直しと運用ルールの周知を改めて行った。異物混入、誤配膳などのリスクマネージメントは、日常のミーティング、科内会議において継続して対策を行った。

患者食糧費の適正活用には、前年度に継続して取り組み、食材の納入業者選定方法を検討し、食事の質を落とさずに経営改善に努めることができた。

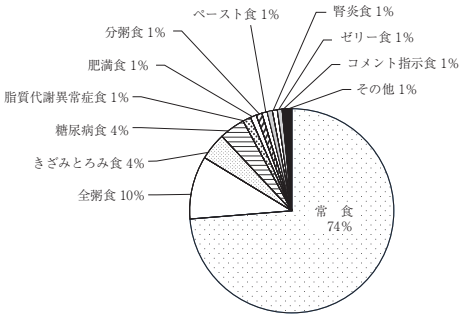
平成28年度は、栄養管理科の科員のスキルアップを目的として「食中毒予防」、「嚥下食」などの科内学習会を年４回開催した。

ア　給食実施状況

入院給食数は、微増傾向だった。提供食内訳は、分粥食、加算の肥満食が増加している。咀嚼力や体重管理など個々の患者に適した食事が依頼されたものと推察する。病棟における栄養管理の質的向上を目指し、個別に細かく対応している。一例として、従来の食事基準では対応しきれず、オーダーメードの食種であるコメント指示食が対前年度比4,187%と大幅に増加している。

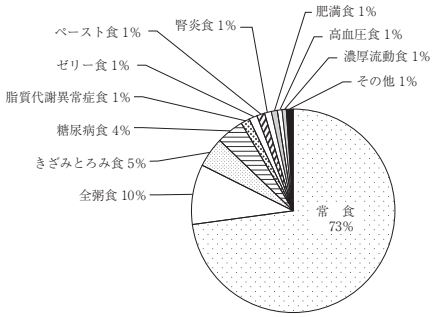
区分 ＼ 年度			28年度	27年度	対前年度比（%）
一般食	常食		219,890	211,135	104.1
	軟流動食	全粥食	29,823	27,669	107.8
		分粥食	2,797	963	290.4
		流動食	14	25	56.0
		きざみとろみ食	12,834	13,809	92.9
		ミキサー食	86	78	110.3
		ペースト食	2,549	3,621	70.4
		ゼリー食	2,368	3,799	62.3
		小計	50,471	49,964	101.0
	計		270,361	261,099	103.5
特別食	加算	腎炎食	2,439	3,183	76.6
		心臓病食	247	324	76.2
		肝臓病食	544	458	118.8
		糖尿病食	12,154	12,567	96.7
		膵臓病食	144	549	26.2
		潰瘍食	0	215	—
		貧血食	0	137	—
		脂質代謝異常症食	3,842	4,057	94.7
		肥満食	504	338	149.1
		小計	19,874	21,828	91.0
	非加算	肥満食	2,345	2,396	97.9
		高血圧食	1,513	2,203	68.7
		膵臓病食	36	0	—
		濃厚流動食	1,321	1,931	68.4
		検査食	594	327	181.7
		コメント指示食	2,261	54	4,187.0
		小計	8,070	6,911	116.8
	計		27,944	28,739	97.2
合計			298,305	289,838	102.9
デイ・ケア			3,225	2,896	111.4
検食・保存食			2,190	2,196	99.7
総合計			303,720	294,930	103.0

［平成 28 年度］
精神医療センター



※その他の食種
高血圧食，心臓病食
濃厚流動食，膵臓病食
検査食，ミキサー食
肝臓病食，流動食

［平成 27 年度］
精神医療センター



※その他の食種
分粥食，潰瘍食
膵臓病食，貧血食
肝臓病食，ミキサー食
検査食，コメント指示食
心臓病食，流動食

イ　栄養管理・NST活動

平成28年度は、入院患者への病棟訪問や摂食状況の観察が増加した。カンファレンスの症例件数が減少しているが、重点的に関わる患者に関して病棟におけるカンファレンスも活性化されている。

病棟カンファレンスは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の多職種で実施している。

低栄養状態のみならず、過剰栄養、摂食・嚥下に問題がある入院患者に対する栄養ケアの充実を目指し、給食内容の改善にも着手した。補助食品の活用が効果的に導入されるようになってきている。

区分＼年度	28年度	27年度	対前年度比（%）
スクリーニング件数（新規入院患者）	1,079	1,006	107.3
カンファレンス症例件数	508	595	85.4

ウ　栄養指導

食生活に課題のある入院患者を抽出し、積極的に栄養指導を実施した。外来患者については、診察日にあわせて食生活改善のアドバイスを実施した。その結果、入院・外来ともに個人の栄養食事指導件数が大幅に増加した。

平成28年度の集団指導は、ストレス外来治療プログラム「リワーク」の一環の集団指導のほか、依存症病棟における集団指導、作業療法プログラムの食生活の自立支援のための集団指導、デイケア通院患者対象の適量摂取、過食防止、窒息防止など精神科特有の視点にたった指導を実施した。

区分＼年度	入院				外来				合計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
28年度	12	146	145	145	4	49	146	146	16	195	291	291
27年度	14	202	137	137	4	35	74	74	18	237	211	211
対前年度比（%）	85.7	72.3	105.8	105.8	100.0	140.0	197.3	197.3	88.9	82.3	137.9	137.9

エ　その他

実習生の受け入れ指導

神奈川県立保健福祉大学より管理栄養士実習受託、３週間２名の実習を実施した。

神奈川県立保健福祉大学大学院生、病院職員、他セクション実習生の講義を実施した。

⑾　保育業務

平成28年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、医師の幼児を対象とするとともに、保育時間も６時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月１回日曜保育（第３を基本）も実施している。

ア　保育の状況

年　齢	男	女	計	保　護　者　の　所　属
６歳	4	2	6	精神医療センター　1　こども医療センター　5
５歳	2	1	3	精神医療センター　2　こども医療センター　1
４歳	3	2	5	精神医療センター　2　こども医療センター　3
３歳	4	2	6	精神医療センター　1　こども医療センター　5
２歳	4	5	9	精神医療センター　2　こども医療センター　7
１歳	3	4	7	精神医療センター　0　こども医療センター　7
計	20	16	36	精神医療センター　8　こども医療センター 28

イ　主な行事

月	内　容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、芋苗植え、こどもの日製作、母の日製作	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断、父の日製作	〃
7	プール開き（プールは～8/31まで実施）、終園式、七夕製作、おまつり	〃
9	始園式、クッキング、秋祭り	〃
10	運動会、秋の遠足	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	節分、バレンタインクッキング、おひなさま製作	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式、お別れ会カレーパーティー	〃

平成28年度　**業　務　年　報**

平成29年11月発行
神奈川県立精神医療センター
横浜市港南区芹が谷２－５－１
TEL　045－822－0241
印刷所　文明堂印刷株式会社　横浜営業所
横浜市南区宿町2-49-2 浜文第２ビル1F
TEL　045－731－1441